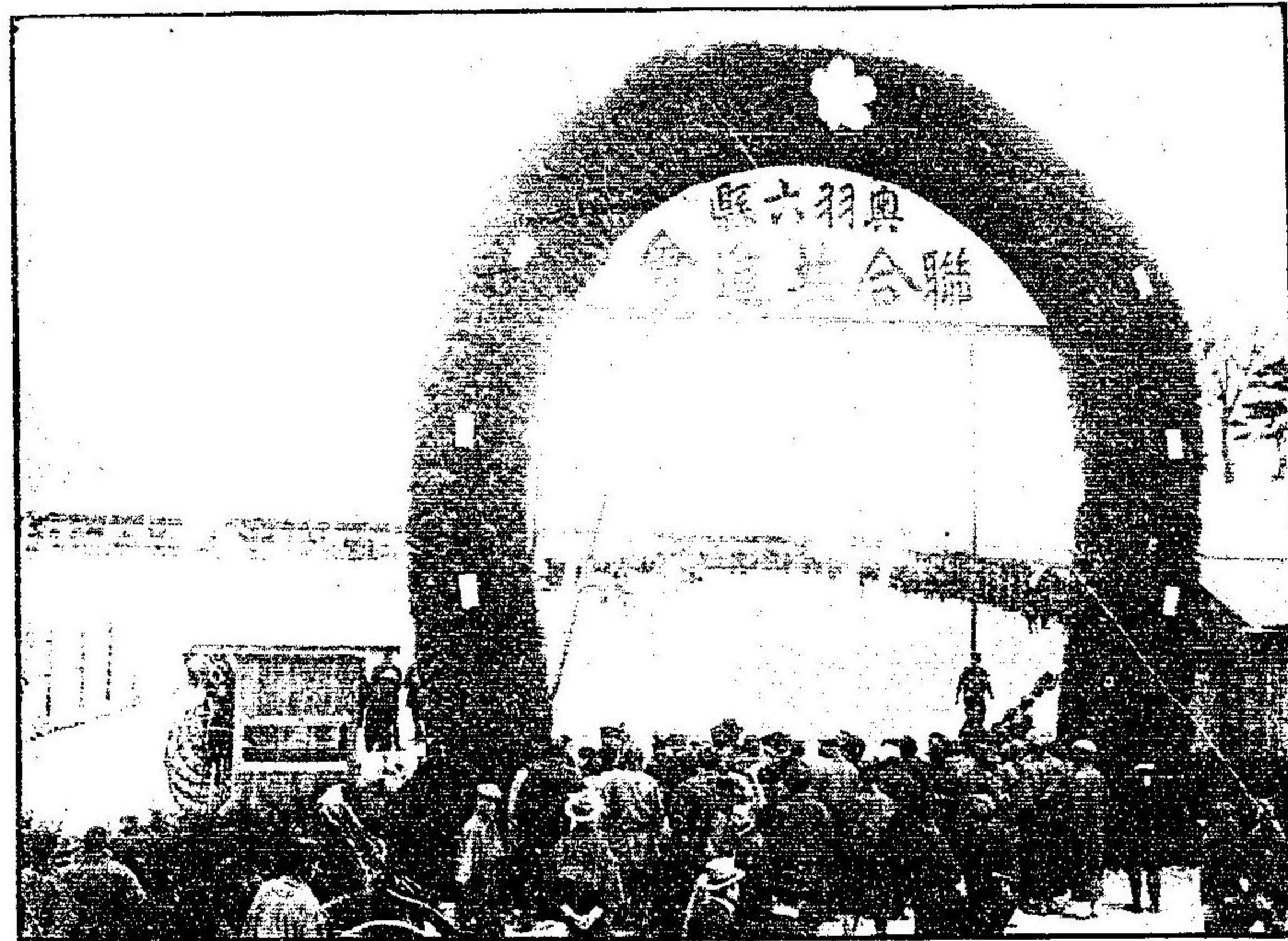


1421
216

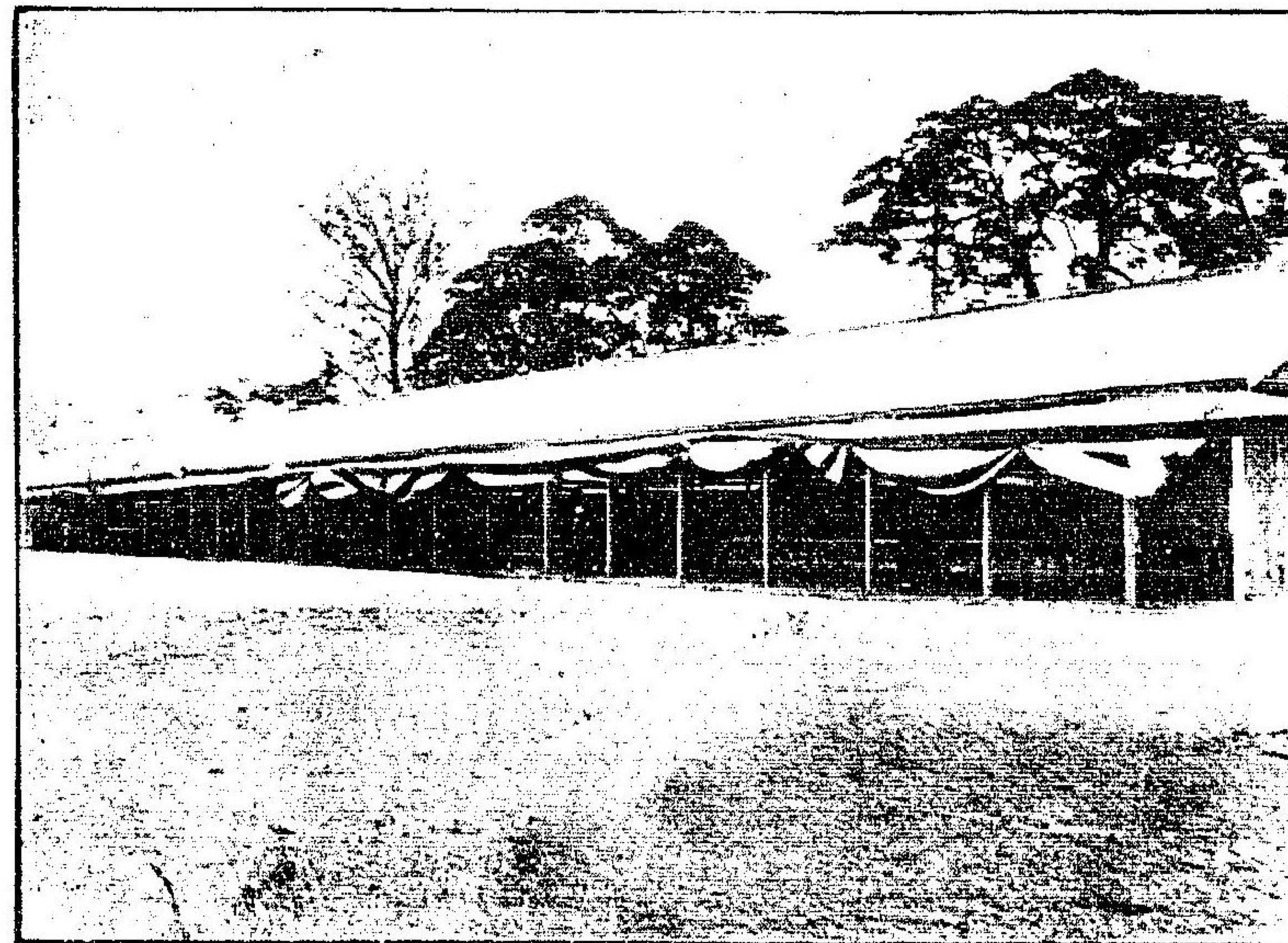
明治四十一年五月

第一回
奧羽六縣聯合馬匹共進會事務報告

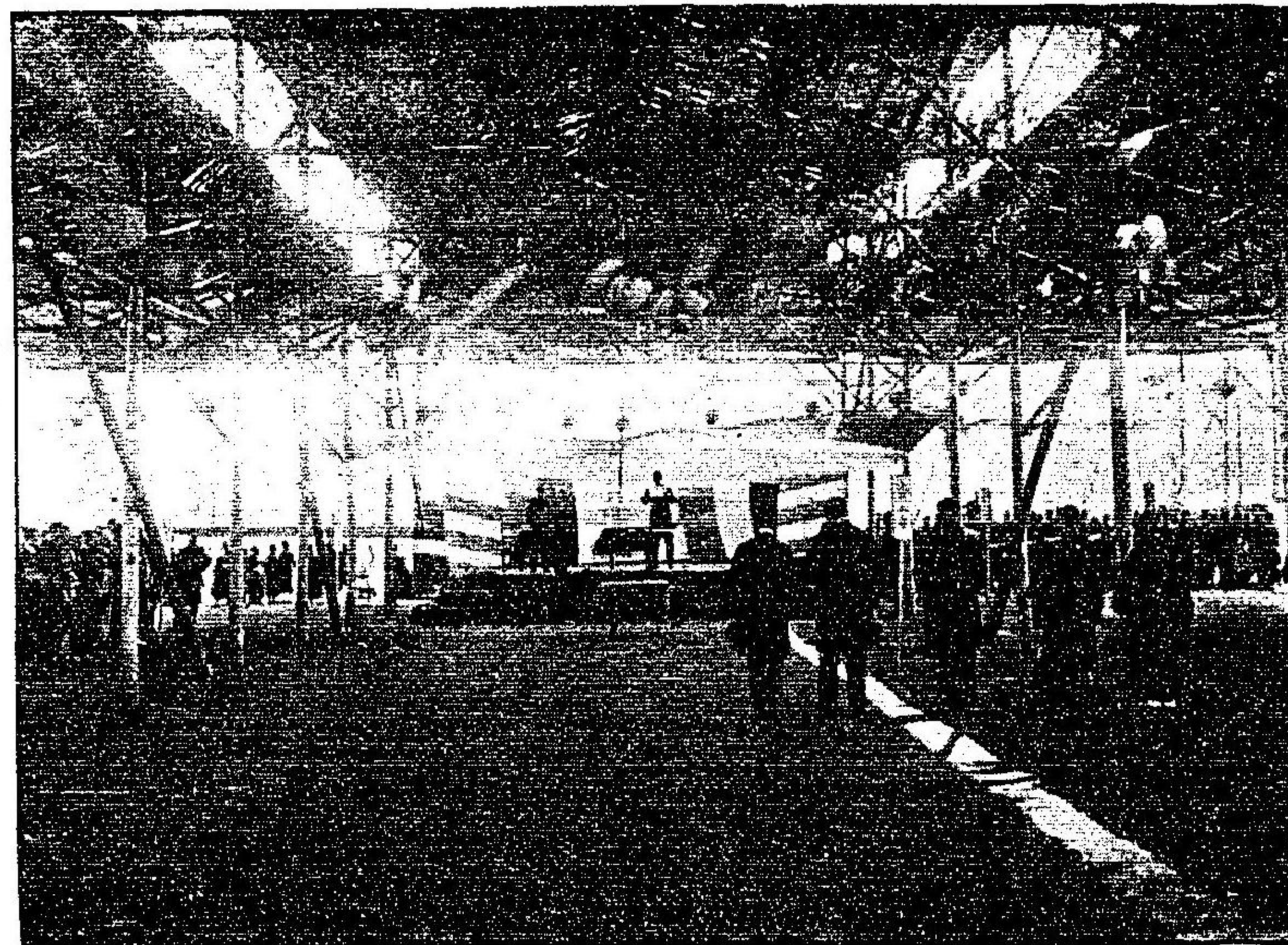
福
島
縣



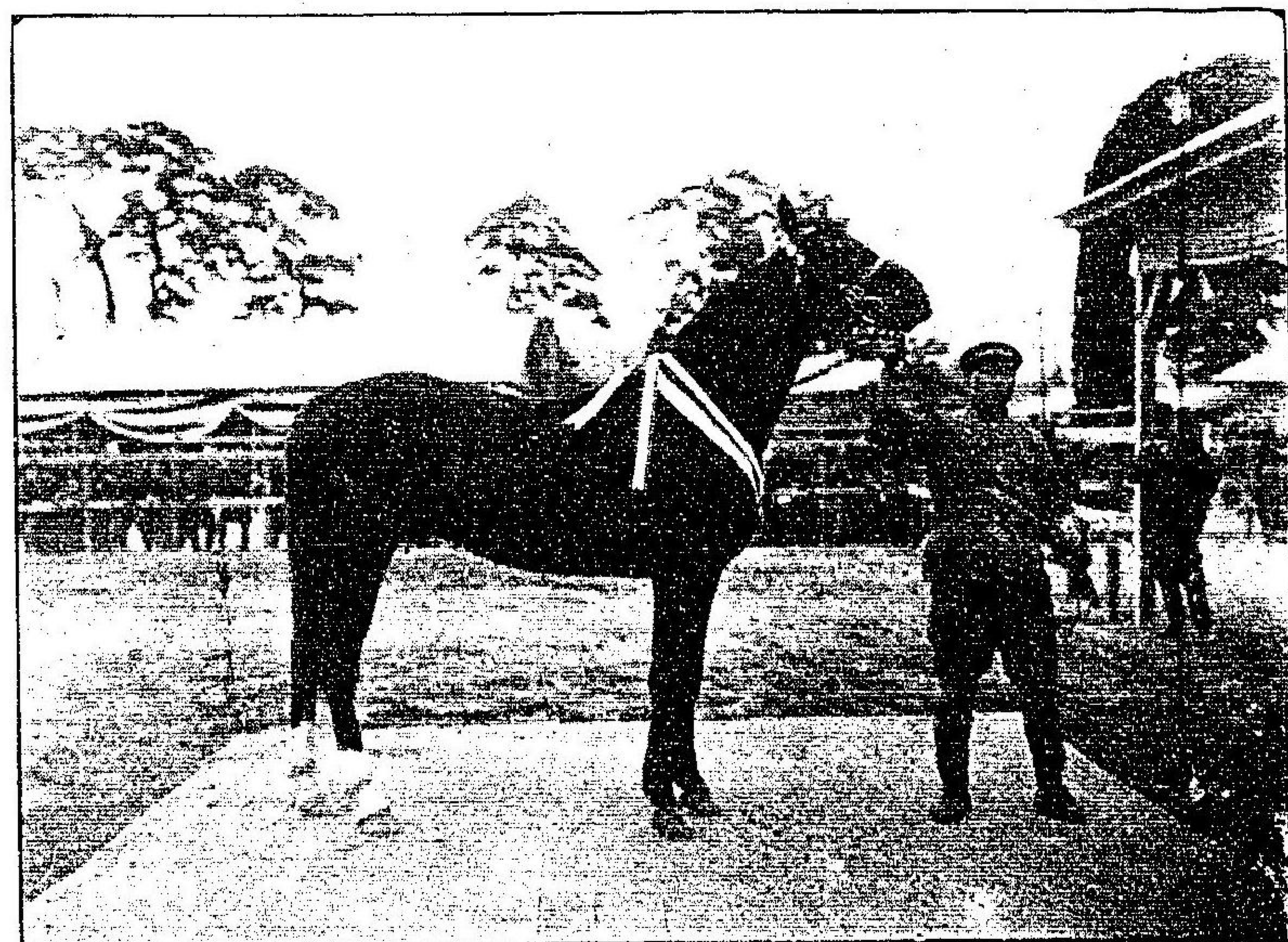
第一回 奧羽六縣聯合馬匹共進會場



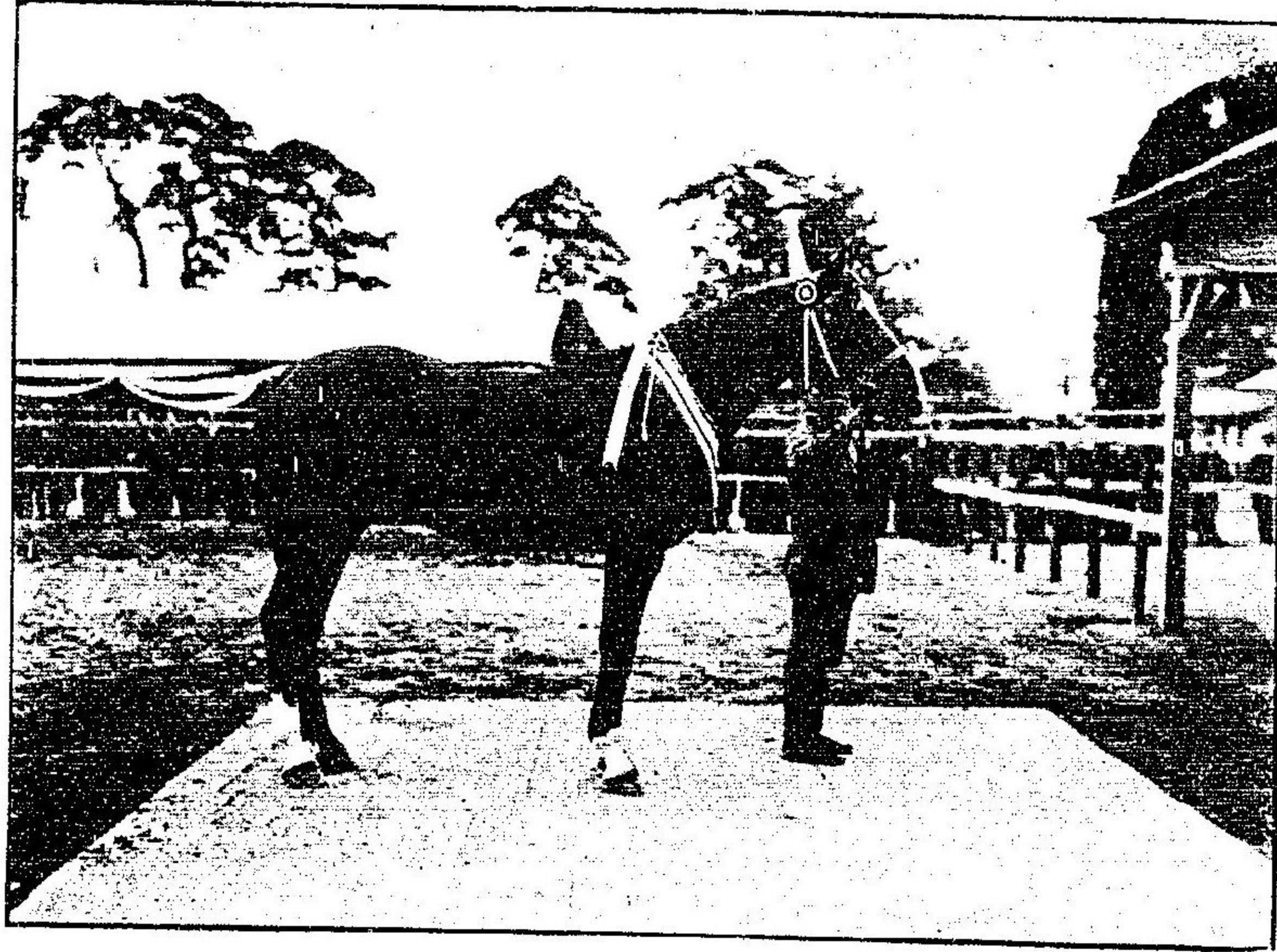
馬匹共進會陳列厩舍圖



馬匹共進會褒賞與式ノ圖



震天號 牝馬 種ニツハ 岩手縣出品一等賞



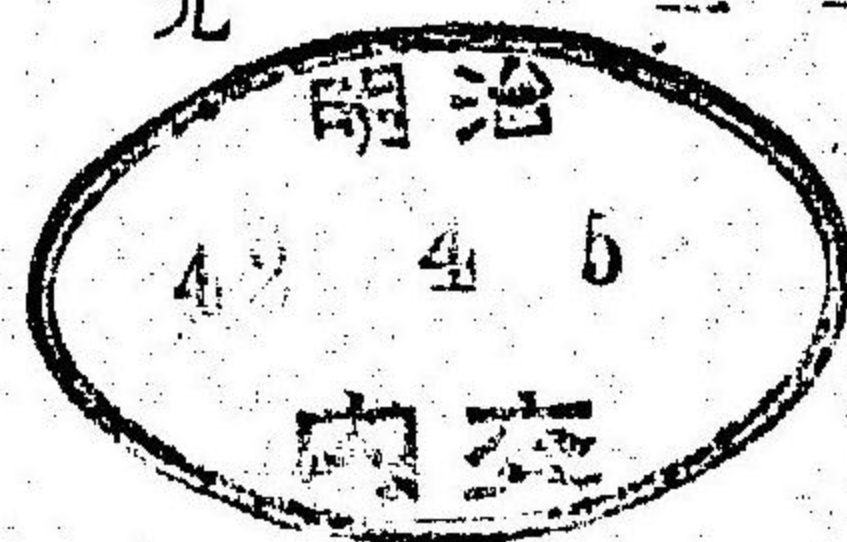
馬牝種ブラアログンア 號一ロウ



賞等一品出縣森青 馬牝種一タツロト 號澤澁

目次

第一章 沿革	一
第二章 本會ノ事歴	一
第一節 協議會	一
第二節 事務所開始	一
第三節 本會ノ景況	九
第三章 會場位置及景況	九
第一節 開會式	九
第二節 褒賞授與式	九
第三節 閉會式	九
第四章 規程	三三
第一節 第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會規則	三三
第二節 同所務規程	三三
第三節 事務委員心得	三三
第四節 參觀人心得	三三



第五節 徽章

二

第五章 職員……………三一

第一節 事務職員

第二節 審查職員

第六章 會場……………三六

第一節 位置及會場略圖

第二節 建築物及工費調

第七章 出品……………三八

第八章 審查……………四四

第九章 褒賞……………四四

第十章 牧畜研究會……………四八

第十一章 受賞者一覽表……………四八

第十二章 經費……………五二

第一節 聯合縣負擔費

第二節 主催縣負擔費

第十三章 案内狀……………五三

第十四章 雜件……………五五

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會事務報告

第一章 沿革

馬匹ハ由來東北地方ノ重要物産ニシテ第一回ヨリ第五回ニ至ルマテ奥羽六縣聯合共進會ノ出品部類中ニ屬シテ各縣モ亦共進會ヲ開會シ之レカ改良發達ニ資セシコト尠ナカラズト雖ドモ尙遺憾トスル所アリシニ時恰モ日露ノ大陸戰ハ馬匹ノ改良ヲ益々緊要ナラシメ政府ハ特ニ馬政局ヲ新設シ進ンデ産馬獎勵ニ關スル閣令第九號ノ發布セラル、アリ從テ聯合各縣モ既往ノ如キ小規模ヲ以テ満足セズ時代ノ進運ト共ニ機宜ノ方法ヲ講ズルハ時運ニ伴フ施設ナルヲ認メ第六回奥羽六縣聯合共進會ノ出品部類ノ範圍ヲ脫シ獨立シテ茲ニ第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會ヲ開クニ至レリ而シテ會期ヲ明治四十一年五月八日ヨリ同月十七日マテ十日間開催スルコトニ協議決定シ規則ヲ定メ其筋ノ認可ヲ受ケタリ爾來着々事務ノ進捗ヲ圖ル中偶々會期線上ゲノ必要ヲ生ジ聯合各縣委員會ニ付シタルニ何等異議ナカリシヲ以テ其協定ニ基キ會期ヲ明治四十一年五月三日ヨリ十二日マテ十日間開催ノ事ニ變更シ尙ホ會場ヲ福島市仲間町三十三番地ト定メ諸般ノ設備整頓豫期ノ通り開會スルヲ得タリ

第二章 本會ノ事歴

第一節 協議會

第六回奥羽六縣聯合共進會第一回協議會ヲ開催スルヤ馬匹ハ前回ノ如ク其出品部類中ニ屬セシムル計
畫ニテ之レカ出陳其他ニ關シテハ他ノ出品物ト共ニ協定セリ其協議事項左ノ如シ

第六回奥羽六縣聯合共進會設備協議事項

- 一、聯合費ノ出納ハ一切主催縣ニ於テ取扱ヒ追テ其精算ヲ報告スルコト
- 主催縣知事ハ聯合費内ノ流用ヲ專用スルコトヲ得
- 二、陳列場其他ノ建物及陳列ニ要スル物品等ハ主催縣ニ於テ設備スルコト
- 三、官省ヘノ往復ハ主催縣知事ニ於テ決行シ重要ノ事件ハ追テ聯合各縣ヘ通知スルコト但シ聯合各縣
知事ノ連署ヲ要スルモノハ此限ニアラズ
- 四、雇員ノ任免ハ主催縣知事ニ於テ決行スルコト
- 五、各縣事務委員其他本會ニ關スル係員ハ開會二十五日前出品總代人又ハ取扱人ハ十日前ニ主催縣ニ
參着シ其事務ニ從事スルコト
- 六、各縣出品豫想點數ハ別表ノ如シ
- 七、審査長審査官及審査員ハ主務省ニ派遣ヲ請フコト
- 八、出品物ハ各縣ニ於テ受持チ整理ヲナスコト
- 九、牛馬陳列中ハ出品人ヨリ牧夫ヲ出シ之ヲ取扱ハシムルコト

十、運送業者ニ出品物運賃及役員並出品人乗車賃ノ割引ヲ主催縣ヨリ交渉スルコト

聯合縣内ニ本店ヲ有スル運送業者ニ對シテハ割引ヲ交渉シテ承諾ノ要領ヲ明治四十一年一月末日
迄ニ主催縣ニ通知スルコト

十一、出品物運賃及役員並出品人乗車賃ノ割引證ハ主催縣ニ於テ調製シ明治四十一年二月二十八日迄ニ
聯合各縣ニ配付スルコト聯合各縣ニ於テハ其所要數ヲ四十一年一月三十日マテニ主催縣ニ通知ス
ルコト

十二、陳列ノ位置ハ各縣事務委員ノ抽籤ヲ以テ定ムルコト

十三、會場ニハ各縣區々ノ裝飾ヲナサルコト但縣名旗、縣名額及組合、團體等ノ旗、額面等ヲ掲グ
ルハ差支ナキコト

十四、入場料ハ主催縣ノ收入トナスコト

十五、賣店規程、事務所、宿直規程、非常心得、門衛心得、守衛看守人心得、小使心得、門標標旗入
場券、章標出品附札、賣約札、公告札、審査用諸器具等ハ主催縣ニ於テ調製スルコト

十六、陳列箱陳列臺ハ主催縣ニ於テ適宜調製スルコト但シ其内容ノ造作ヲ變更スル場合ニハ之カ材料
ヲ主催縣ヨリ供給シ各縣ニ於テ適宜ニ作成スルコト出品ノ性質若クハ狀態ニヨリ特別ノ容器臺枠
裱裝又ハ基礎工事動力等ヲ要スルモノハ出品人ノヲ設備スルコト

- 十七、出品物ハ遅クモ開會前日迄ニ陳列ヲ結了スルコト
- 十八、荷物運搬費荷造荷解ニ要スル費用ハ各縣ニ於テ支辨スルコト
- 十九、賣店ノ地所建坪ハ主催縣ニ於テ設備スルコト但賣品ノ種類ハ明治四十一年二月十日迄ニ主催縣ニ通知スルコト
- 二十、賣店ノ配當間數左ノ如シ

福	島	宮	城	岩	手	青	森	山	形	秋	田	計
一〇		一〇			八		七		一〇		八	五三

賣店配當ハ主催縣ニ一任スルコト

自費賣店ノ希望者アルトキハ四十一年二月十日迄ニ所要評數賣品種類並ニ希望者ノ氏名ヲ主催縣ニ通知スルコト

- 廿一、本會ノ開期、會場等ヲ示ス爲メ聯合各縣内適當ノ地ヘハ高札ヲ其他鐵道各驛市町村及全國各要地等ヘハ印刷ノ廣告ヲ揭示スルコト
- 高札ハ聯合各縣ニ於テ調製スルコト
- 印刷廣告ハ主催縣ニ於テ調製配付スルコト

廿二、各縣郡市事務委員ノ官職氏名ハ四十一年一月末日迄ニ主催縣ニ通知シ異動ヲ生ジタルトキハ其都度通知スルコト

廿三、各縣事務所用家屋ノ借入ヲ主催縣ニ委託セントスルトキハ借入期間、損料豫算、所要評數等ヲ四十一年一月十五日迄ニ主催縣ニ通知スルコト

廿四、共進會規則別紙之通

廿五、共進會費聯合縣負擔豫算別紙之通

廿六、參考品ハ次ノ協議會迄ニ其品種ヲ調査シテ取捨スルコト

廿七、同一品ハ餘リ多ク出品セシメサルコト

廿八、木工品ノ容積ハ箆筒位ノモノニ止ムルコト

第六回奥羽六縣聯合共進會經費豫算調

一金百九十八圓

明治四十年年度支出

但一縣負擔額金三十三圓也

内

金百五圓七十錢

雜

給

小使二人各三十一日延六十二日一人一日金三十五錢此金二十一圓七十錢

人夫雇十二人各二十日延二百四十人一日金三十五錢此金八十四圓
金九十二圓三十錢 雜 費

印刷費開會公告二千枚一枚四錢(金八十圓)規則印刷(金十二圓三十錢)

第六回奧羽六縣聯合共進會經費豫算調

一金九千二百八十二圓

明治四十一年度支出額

但一縣負擔金千五百四十七圓

內

金四千八百九十圓七十二錢

審 查 員 費

但米其他審查員六十四人各二十日延千二百八十日手當計一圓(金千二百八十圓)牛馬審查員四人
各五日延二十日手當金一圓(金二十圓)車馬賃二百七十二里一里金十五錢(金四十圓八十錢)汽車
賃四萬七千八百八十一哩一哩金四錢(金千八百八十三圓五十二錢)汽船賃二千三百六十哩一哩金四錢
(金九十四圓四十錢)日當延日數千五百七十二日(米其他審查員各二十四日六十四人延千五百三
十六日牛馬審查員四人各九日延三十六日)一日金一圓(金千五百七十二圓)
金千九百六十五圓八十錢 雜 給
但看守人三十人內十五人各六十日十五人各四十日延千五百日一日金四十錢(金六百圓)守衛二人

各六十日延百二十日一日金五十錢(金六十圓)門衛四人內二人各六十日二人各四十日延二百日一
日金四十錢(金八十圓)審查書記三十四人各二十五日延八百五十日一日金五十錢(金四百二十五
圓)審查工女十二人各二十日延二百四十日一日金五十錢(金百二十圓)小使六人各七十日三人各
五十日延三百六十一日一日金三十五錢(金百二十六圓)臨時雇及人夫二十八人各四十日延八百日一
日金三十五錢(金二百八十圓)守衛看守人門衛服裝料三十六人分一人分金七圓(金二百五十二圓)
小使六人分一人分金三圓八十錢(金二十二圓八十錢)

金四百三十一圓二十錢

牛馬飼料費

但各縣出品馬四十二頭牛十四頭計五十六頭各十四日延七百八十四日一日一頭金五十五錢

金三百圓

開閉場及授與式費

金四百九十四圓二十八錢

印 刷 費

金千二百圓

豫 備 費

然ルニ其後獨立開設ノ必要ヲ認メ聯合各縣及其筋ニ對シ數次ノ照復ヲ經協定ヲ見ルニ至リタルヲ以テ
更ニ明治四十一年三月第一回協議會ヲ開キ馬匹共進會ニ關スル件並ニ第六回奧羽六縣聯合共進會トノ
關係事項協議ヲ遂ゲタリ其馬匹關係事項左ノ如シ

第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會ニ關スル事項

- 一、出品ヲ發送セムトスルトキハ豫メ其到着時間ヲ主催縣ニ通知シ開催地到着ノ際直ニ健康診斷ヲ受ケルコト
- 二、功勞者ニ對スル褒賞ハ馬政局ニ於テ單ニ表彰ニ留ムルトキハ賞與ハ聯合費豫備費中ヨリ支給スルコト
- 三、馬政局通牒ニ依リ規則第三條但書ヲ削除スルコト
- 四、四十年豫算ニ於テ負擔額壹圓ヲ増シタルハ之ヲ減額スルコト四十一年度豫算中審査員費ノ必要ヲ認メザルヲ以テ之ヲ削リ其額ヨリ四十年度ニ於テ減シタル壹圓ト山形縣出陳馬匹二頭分ノ糧食ノ費用トヲ差引キ殘額ノ總テヲ豫備費ニ繰込ミ更正豫算ヲ主催縣ヨリ聯合縣ニ通知スルコト
- 五、第六回奧羽六縣聯合共進會ニ關シ第一回委員會ニ於ケル協定事項中本會ニ適用シ得ベキ事項ハ之ヲ適用スルコト但第一項中聯合費ノ流用ハ本會ニ關スル聯合費ト第六回奧羽六縣聯合共進會費トノ流用ヲモ主催縣知事ニ於テ專行スルコトヲ得ルコト
- 六、山形縣ハ馬匹二頭ヲ追加スルコト
- 七、馬體ニ用ユル裝飾ハ出品人ニ一任スルコト
- 八、馬名標各縣陳列境界標及厩舍外部ノ裝飾ハ主催縣ニ於テ設備スルコト
- 九、馬匹ノ産額等ニ關スル調査統計ハ各縣ニ於テ適宜調製揭示スルコト

第二節 事務所開始

第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會事務所ハ明治四十一年三月 日ヨリ第六回奧羽六縣聯合共進會事務所ノ開始ト同時ニ福島市字杉妻町三番地第六回奧羽六縣聯合共進會場内ニ之ヲ併置シ尙同年四月二十八日ヨリ福島市仲間町三十三番地馬匹共進會場内ニ主催縣事務委員會所及聯合縣委員會所ヲ設置シ兩所ニ於テ事務ヲ措辦セリ

第三章 本會ノ景況

第一節 會場位置及景況

會場ハ福島市字仲間町三十三番地ニアリ東方ハ舊藩府ノ調馬場ニ隣接シ北方ハ數頃ノ田圃ヲ隔テ、信夫山ヲ仰ギ西方ハ吾妻小富士ノ峰巒雙眸ノ中ニアリ福島停車場ハ十一二丁ニシテ達スベク第六回奧羽六縣共進會場及福島縣廳ハ南方七八丁阿武隈川畔ニアリ又公會堂ハ北方僅ニ數十間ニ過ギザルヲ以テ交通至便牛馬ヲ牽付ケ來觀者ノ來往等最モ便利ノ地點タリ而シテ會場ノ正門ハ蹄鐵形ノ大綠門ニ奧羽六縣聯合共進會ト題字ヲ顯ハシ大國旗ヲ交又シ夜間ハサンテリアヲ點シ厩舍牛舍ノ周圍ニハ紅白ノ幔幕ヲ張り屋上ニハ二三間隔テ、三角旗ヲ樹立シ各縣ノ陳列分界ニハ縣銘旗ヲ立テ場内中央ニハ孤狀電燈千二百燭光ヲ付設シ其電柱ヨリ四方ニ萬國旗ヲ吊シ場ノ四隅ニハ紅白ノ吹流シヲ懸ヘシ厩舍牛舍事

務所其他ノ建物ニハ悉ク電燈ヲ付設シ美觀ヲ添ヘ協賛會亦來觀者ノ便ヲ與ヘンガ爲ニ案内記ヲ頒布シ或ハ會場内ニ接待所ノ設備ヲナスアリ加フルニ會場ハ門戶開放來觀者ノ便ニ供シタルヲ以テ公會堂其他ニ於ケル各種大會參列者ハ云フモ更ナリ特ニ來觀スルモノ頗ル多ク一日少キモ四五千人多キハ一萬人以上ニ達シ會期中十萬人以上ヲ算スルノ盛況ヲ呈セリ

今回ノ開催ニ際シ曾禰馬政局長官ハ韓國出張中藤波馬政局次長ハ病氣ノ爲メ遂ニ貴臨ノ榮ヲ得ザリシハ頗ル遺憾トスル所ナリト雖ドモ豫想外ニ來觀者ノ多カリシ爲メ往々宿舍ニ差支ヲ來シ無止汽車又ハ輕便鐵道ノ便ニ依リ近キハ飯坂温泉又ハ湯野温泉ニ遠キハ二本松町郡山町ニ宿泊ヲ要スルニ至ラシメタルハ來觀者ニ對シ謝意ヲ表スルト共ニ盛況ヲ呈シタルハ局ニ在ルモノ、満足スル所ナリ

第二節 開會式

五月三日開會式ヲ特設式場ニ於テ舉行ス當日天氣清朗ニシテ定刻前來賓陸續參集花屋敷ニ於テ暫時休憩定刻ヲ報ズルヤ式場ニ參列シタルモノ約壹千人ト註セラル午前十時開會正午式全ク了ル式了ツテ平岡事務長ハ來賓一同ヲ案内シテ馬匹共進會場ヲ觀覽シ午後一時ヨリ來賓約五百人ヲ花屋敷ニ招待シ園遊會ヲ開ク開會ニ先チ平岡事務長ノ挨拶アリテ宴ニ移レリ殊ニ當日ハ舊福島藩主板倉子爵ノ來臨ヲ辱フセシヲ以テ一層ノ盛觀ヲ添ヘ各自歡ヲ盡シテ散會セルハ午後四時頃ナリ

開會式順序

一、入場

- 一、第一鈴 出品人及係員整列
- 二、第二鈴 來賓一同參列
- 三、第三鈴 事務長事務委員長ノ先導ニテ臨場(一同修禮)

二、儀式

- 一、事務委員長進ンテ開會ヲ申進シ出品目錄ヲ事務長ニ呈ス
- 二、事務長開會式辭
- 三、來賓祝辭
- 四、出品人總代答辭

三、退場

- 一、事務長事務委員長ノ先導ニテ退場
- 二、來賓退場
- 三、出品人及係員退場

申告

第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會ノ設備茲ニ成リタルヲ告ク

從來馬匹ハ奥羽六縣聯合共進會ニ出陳シ來リタルモ產馬獎勵規定ニ依リ客秋馬匹共進會ハ本縣主催トナリ第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會ヲ開催スルコトニ聯合縣知事ノ協定ヲ得タリ而シテ會場ノ總面積ハ約五千坪建物十棟總坪數八百餘坪ニシテ皆今回ノ營造ニ係ル更ニ出品頭數ヲ舉グレバ青森、岩手、秋田、宮城ノ四縣ハ各十二頭山形福島兩縣ハ各六頭合計六十頭ナリ之レヲ本會ノ經過及設備ノ梗概トス

顧フニ經營太ダ急ナルニモ拘ラズ各般ノ施設ヲ過ラザリシ所以ノモノハ事務委員諸氏ノ努力ト當業者諸氏ノ勵精ニ依ル武ニ乏シキヲ委員長ニ承ケ此盛典ヲ舉ゲラル、ニ至リタルハ頗ル光榮トスル所ナリ爰ニ會場全圖及出品目錄ヲ具シ以テ開會ノ式典ヲ舉ゲラレンコトヲ申告ス

明治四十一年五月三日

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會

事務委員長從五位勳五等 平田武二

式 辭

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會設備成リ茲ニ開會ノ式ヲ舉ゲ東北ノ地由來產馬ノ業ニ適シ駿良ヲ産スルコト年ニ六萬頭ヲ下ラス盛ナリト謂フヘシ此ニ於テカス業ノ盛衰ハ獨リ東北ノ問題ニアラスソテ國力ノ消長ニ關スルコト甚大ナリ今茲ニ奥羽六縣聯合シ本會ノ開設ヲ見ルニ至レルモノ洵ニ其機宜ヲ得タルモノニシテ斯業ノ爲諸君ト共ニ欣喜ニ堪ヘザル所ナリ今回ノ出陳頭數ハ六十ニシテ駿良ノモノ多ク以テ斯業ノ一斑ヲ知ルニ足ル然リト雖モ之ヲ歐米產ノ馬匹ニ比スレハ尙遜色ナキヲ免レス今ヤ國力ノ發展ハ畜産發達ノ上ニ多大ノ勢援ト利便トヲ與ヘツ、アリ當業者諸子冀クハ斯業ノ發達ヲ以テ使命トシ益協戮奮勵ヲ以テ本會開設ノ趣旨ヲ貫徹スルニ勉メンコトヲ一言ヲ以テ式辭トス

明治四十一年五月三日

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會

事務長福島縣知事正五位勳四等 平岡定太郎

板倉子爵祝詞ノ大要

事物ノ發展進歩ハ競争ニ俟ツモノ多シ近者盛ニ競馬會ノ舉行サル、ハ其主旨馬匹ノ改良ニアルナリ殊ニ東北ノ地ハ古來產馬地ヲ以テ目セラレ名聲遠ク海外ニマデ聞ユサレバ今回馬匹共進會ノ開會ノ如キ偶然ニアラザルナリ、自今益々馬匹改良ノ實績ヲ舉ゲンコトヲ切望ニ堪ヘズ云々

祝 辭

我東北地方ハ古來名馬駿驥ノ產出多ク冀北ヲ以テ稱セラル、コト久シ特ニ輓近外國種ヲ購入シテ改良ヲ計リ進歩ノ成績大ニ見ルヘキモノアリ茲ニ第一回奥羽六縣馬匹共進會ヲ開設セラル、ニ至リシモノ今故アリト云フヘシ即チ本會ノ榮譽トシテ深ク感謝シ謹ンテ祝意ヲ表ス

明治四十一年五月三日

福島市長正七位勳六等功五級 二宮 哲 三

一四

答 辭

畜産業ノ發達ヲ計ルハ東北産業上ノ最大急務ナリ今茲ニ第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會開會ノ盛典ヲ舉ケラレ朝野縉紳ノ賁臨ヲ辱フシ賜フニ懇篤ナル訓辭ヲ以テセラル誰カ感奮興起セザランヤ生等不肖ト雖モ爾今益々斯業ノ發展ニ努メ以テ高論ニ酬ヒンコトヲ期ス謹デ答フ

明治四十一年五月三日

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會

出品人總代

福島縣田村郡產馬組合組長勳七等 岩崎 政 義

第三節 褒賞授與式

五月十日褒賞授與式ヲ特設式場ニ於テ舉行ス當日ハ第六回奥羽六縣聯合共進會ノ授與式ト同日ナリシカ爲メ從テ開會遲延スルニ至リ午前十一時頃開會セリ先ツ馬政長官代理馬政官新山莊輔ハ平岡事務長ノ先導ニテ式場ニ臨マレ平岡事務長ノ開旨新山審査長代理岸本馬政官ノ審査申告會禰馬政長官ノ式辭馬政官ノ褒賞授與平岡事務長及來賓ノ祝辭出品人總代ノ答辭等アリ午後一時頃式至ク了リ直チニ來賓

一同ヲ招待シテ奥羽六縣聯合共進會場内ニ於ケル共進會共同大園遊會ヲ開ク園遊會ニ於テハ紀念品ノ贈呈福引及藝者ノ手踊其他種々ノ餘興等アリ全ク散會セシハ午後五時頃ナリ尙ホ當夜ハ市民ノ發起ニテ提灯行列盆踊等アリテ終夜頗ル賑盛ヲ極メタリ

褒賞授與式順序

入場

- 一、第一鈴 出品人及係員整列(此間奏樂)
- 二、第二鈴 來賓參列(此間奏樂)
- 一、馬政長官事務長ノ先導ニテ臨場(此間奏樂)
- 二、事務長儀式開始ヲ參列者ニ告グ(一同修禮)
- 三、君ヶ代奏樂(二回)
- 四、審査長審査ノ概況ヲ申告シ褒賞ノ授與ヲ申請ス
- 五、馬政長官式辭
- 六、褒賞ノ授與(事務委員長順次受賞者ヲ呼出シ審査長褒賞ヲ讀ミ上グ)
- 七、事務長祝辭
- 八、來賓祝辭

一五

九、祝辭祝電ノ披露

十、出品人總代ノ答辭

十一、事務長式ノ終リヲ告グ(一同修禮)

退場

一、馬政長官事務長ノ先導ニテ退場(此間奏樂)

二、來賓退場(此間奏樂)

三、出品人及係員退場(此間奏樂)

審査申告

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會ニ於ケル出陳馬ノ審査終了ヲ告グ本日ヲ以テ褒賞授與ノ式ヲ舉グラル
莊輔乏シキヲ審査長ニ受ケ此盛典ニ列シ審査ノ成績ヲ申告スルハ洵ニ光榮トスル處ナリ
本會出陳ノ馬匹ハ總數五十七頭内牝十六頭牡四十一頭之ヲ縣別ニ數フレハ青森縣十頭福島縣六頭山形
縣五頭宮城岩手秋田ノ三縣各十二頭共ニ洋種若シクハ雜種ニシテ其縣内ニ於テ産出シタルモノニ屬ス
奥羽六縣ハ古來産馬ノ歴史ニ富ミ驥北ヲ以テ世ニ目セラル夙ニ馬匹ノ改良ニ着眼シ各地勢風土ヲ顧
ミテ産馬ノ方針ヲ定メ經營年ヲ重ネ各地特産ノ馬匹ヲ産出シ今ヤ此會場ニ陳列シテ其駿銳ヲ競フ寔ニ
邦家ノ爲メ慶賀スベキナリ

然レドモ亦翻テ出陳ノ馬匹ヲ精査スレバ其能力ニ於テ批評ヲ加フベキモノ尙ホ未ダ鮮カラザルヲ覺ユ
思フニ維新以來此地歐米ノ種畜ヲ輸入シタルモノ其數百ヲ以テ算スベク産馬ノ血液爲ノニ著シク改進
セラレ容相外形略相具ハルヲ見ル而モ體軀ノ孱弱ニシテ肢蹄ノ軟弱ナル其實役上ノ能力ニ至リテハ大
ニ疑ヒナキ能ハズ是レ蓋シ方今馬匹管理動モスレバ寵撫教育ニ流レ筋骨肢蹄ノ發達ニ重キヲ置カサル
ニ職由セズンバアラズ殊ニ出陳馬匹ノ中近來將ニ害毒ヲ國內ニ逞フセントスル骨脆症ノ徵狀アルモノ
數頭ヲ存スルニ至リテハ更ニ罪ヲ飼育ノ背理ナルニ歸セズンバアラズ斯業ノ前途轉タ寒心ニ堪ヘザル
モノアリ馬匹育成法ノ改善蓋シ刻下ノ急務ナルヲ信ズ若シ夫レ審査ニ至リテハ審査官ノ幫助ニ依リ熟
考精慮一等賞三頭二等賞四頭三等賞十二頭四等賞十八頭ヲ選馬擬賞シテ閣下ノ裁宜ヲ經タリ玆ニ謹デ
褒賞ヲ授與セラレントヲ稟請ス

明治四十一年五月十日

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會

審査長馬政官正五位勳五等 新山莊輔

式 辭

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會審査長ノ申告ヲ領シ玆ニ褒賞授與ノ典ヲ舉グ
東北ノ地山野遠ク開ケ隨處水草ニ富ム古來本邦ノ驥北ニシテ亦タ全國ニ對スル種馬供給ノ主要地タリ

惟フニ産馬業者ハ舊藩施設ノ後ヲ承ケ刻苦耐忍幾多ノ難關ヲ排シテ銳意馬匹ノ改良ニ貢獻スルコト玆
二年アリ今ヤ各地ノ華ヲ集メ一場ニ會スルヲ見ルニ進歩ノ跡歴々タルモノアルハ本官ノ尤モ満足スル
處ナリ然レドモ之ヲ國家ノ期待スル處ニ對比スレバ及バザルコト尙遠シ諸子克ク此意ヲ體シ今次審査
ノ成績ニ鑑ミ一層奮勵シテ躬行實踐須ク斯業ノ大成ヲ期スベシ一言以テ式辭トナス

明治四十一年五月十日

馬政長官從二位勳一等子爵 曾 瀨 荒 助

祝 辭

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會出品ノ審査全ク竣リ玆ニ褒賞授與ノ式ヲ舉ゲラル

願フニ馬匹ハ古來東北ニ於ケル重要産ニシテ其消長ハ直ニ本邦産馬業ノ振否ニ關ス官民協力斯業ノ改
善發達ニ努ムルモノ亦由アリト謂フベシ近者倍々改善ノ實ヲ舉グルニ至リタルハ之ヲ今回ノ成績ニ徵
スルヲ得諸君ト共ニ欣喜ニ堪ヘザル所ナリ然レドモ之ヲ國威ノ發揚ニ比シ産業ノ進歩ニ鑑ミレバ斯業
ノ前途ハ尙悠遠ニシテ其發達ヲ促スコト甚ダ急ナルモノナクンバアラス此時ニ當リ駿ヲ擢テ優賞ヲ賜
フ其當業者ヲシテ感激以テ大成ヲ期セシムルニ資スル所アルヤ蓋シ疑ヲ容レズ一言ヲ以テ祝辭トス

明治四十一年五月十日

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會

事務長福島縣知事正五位勳四等 平岡定太郎

答 辭

玆ニ第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會褒賞授與ノ式ヲ舉ゲラレ緒紳ノ賁臨ヲ辱フシ且ツ懇篤ナル訓諭ヲ
以テセラル生等ノ光榮何モノカ之レニ過ギン今後益協力奮勵斯業ノ發達ヲ計リ以テ高論ニ副ハンコト
ヲ期ス出品人一同ニ代リ謹デ答フ

明治四十一年五月十日

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會出品人總代

福島縣田村郡産馬組組長勳七等 岩 崎 政 義

第四節 閉 會 式

五月十二日閉會式ヲ馬匹共進會場内ニ於テ舉行ス當日ハ朝來強雨ナリシニモ拘ハラズ準備シタルニ正
午頃ヨリ細雨トナリ舉式ニハ殆ンド妨ゲナキ狀況ヲ呈シ豫定通り午後一時開會平岡事務長ノ式辭ニ宮
市長ノ祝辭出品總代ノ答辭ヲ以テ式ヲ了へ午後五時ヨリ來賓八十餘名ヲ松葉館ニ招待シ慰勞ノ宴會ヲ
開キタルニ席上平岡事務長ノ挨拶來賓ノ演說餘興等アリ各自十二分ノ歡ヲ盡シ散會セルハ午後十時頃
ナリ

閉會式舉行順序

- 一、明治四十一年五月十二日午後一時馬匹共進會場内ニ於テ舉行
- 二、第一鈴 係員及出品人參列(此間奏樂)
- 三、第二鈴 來賓一同參列(同上)
- 四、第三鈴 事務長事務委員長ノ先導ニテ臨場(同上)
- 五、事務委員長進ンデ閉會式舉行ヲ申請ス
- 六、君ケ代奏樂(二回)
- 七、事務長閉會式辭
- 八、來賓祝辭
- 九、出品人總代答辭
- 十、事務長事務委員長ノ先導ニテ退場
- 十一、來賓退場
- 十二、出品人及係員退場

式 辭

第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會々期既ニ滿チ茲ニ閉會ノ式ヲ舉ク

本會出陳ノ馬匹ハ其數六十頭一シテ賞與ノ榮ヲ得タルモノ半數ノ餘ニ上リ來觀者ノ數ハ通ジテ十萬ヲ

超ユルノ盛況ヲ呈セリ會期僅ニ一旬ニ過ギズ出陳頭數亦多シト云ヲ得ザルモ而モ此榮譽ト此隆盛ヲ致セルモノハ一ニ當業者ノ熱誠ト有志ノ協賛トニ因ラズンバアラズ若夫事ノ成ルハ偶然ニアラズトセバ今回ノ成果ニ徴シ他日ノ大成ニ疑ナキモノナリ茲ニ閉會ヲ告グルニ當リ切ニ當業者諸子ノ努力ヲ望ム

明治四十一年五月十二日

第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會

事務長福島縣知事正五位勳四等 平岡定太郎

第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會ハ去ル三日歡聲ヲ以テ迎ラレ好良ナル成績ヲ以テ本日茲ニ閉會ノ盛典ヲ舉ゲラル、ニ至リタルハ慶賀ノ至ニ堪ヘザル所ナリ

惟フニ今回ノ共進會ニヨリ東北地方ノ馬匹ハ其體質品格共ニ他ニ遜色ナク將來倍有望ナルノ心證ヲ與ヘ馬匹ノ改善進歩ノ基礎ヲ鞏固ナラシメ斯業ニ從事スルモノハ熱誠ヲ倍進セシメタルコト明カナルヲ確信ス茲ニ一言祝辭ヲ呈シ併セテ馬匹界將來ノ多幸ナランコトヲ祈ル

明治四十一年五月十二日

福島市長 二宮哲三

答 辭

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會閉會ノ式ヲ舉ゲラレ特ニ高諭ヲ辱フス
今ヤ國運ノ發展ニ伴ヒ馬匹改良ノ急ヲ告グルニ當リ當業者ノ獎勵益々厚キヲ加フ出品人等感激措ク能
ハザル處ナリ只益々勵精以テ他日ノ大成ヲ期シ高諭ニ背カザラン事ヲ努メントス謹デ答辭ヲ述ブ

明治四十一年五月十二日

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會出品人總代
福島縣田村郡產馬組合組長勳七等 岩崎 政義

第四章 規程

第一節 第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會規則

第一章 總則

- 第一條 本會ハ宮城、福島、岩手、青森、山形、秋田六縣聯合明治四十一年五月三日ヨリ五月十二日
マデ福島縣福島市ニ開設ス
- 第二條 本會ノ出品人ハ聯合縣内ノ居住者ニシテ一戸内一人ニ限ル
- 第三條 本會ノ出品ハ聯合縣内ニ於テ生産シタル馬匹ニシテ三歳以上六歳以下ノモノニ限ル
- 第四條 出品ハ一人一頭ニ限ル但シ會社其他ノ團體ニ於テハ此制限ニ依ラサルコトヲ得會社其他ノ團

體ニ於テハ役員又ハ代表者ノ名義ヲ以テ出品スルコトヲ得ス

第二章 出品

- 第五條 出品セントスルモノハ出品目錄並ニ解説書ニ通テ製シ町村役場、郡市役所ヲ經テ明治四十一年一月三十一日マデニ縣廳ニ差出スヘシ
- 第六條 出品ハ開會期日前三日以内ニ之ヲ搬入シ開會後二日以内ニ搬出スヘシ但シ搬入ノ際ハ健康檢査ヲ行ヒ傳染病ニ罹ルカ若クハ其疑アルモノハ其搬入ヲ拒絕ス
- 第七條 出品ハ本會ニ於テ相當ノ保護ヲ爲スヘシト雖モ避ケヘカラサル事故ニ依ル損害ニ對シテハ本會其責ニ任セス
- 第八條 出品人ハ各自搬入賣約等ニ從事スベシ但シ代理人又ハ協同シテ總代人ヲ出スモ妨ゲナシ

第三章 會場

- 第九條 會場ハ毎日午前八時ニ開キ午後四時ニ閉ツ但シ時宜ニヨリ伸縮スルコトアルベシ
- 第十條 出品ノ看守、飼養等ニ關スル費用ハ本會之ヲ辨ズ
- 第十一條 出品ニハ名稱代價出品人氏名等ヲ標示スベシ標札ハ本會ヨリ之ヲ交付ス
- 第十二條 賣買約定濟ノモノハ其旨標示スベシ標札ハ本會ヨリ之ヲ交付ス
- 第十三條 出品ハ閉會後ニアラザレバ之ヲ搬出スルコトヲ得ズ

第十四條 會場内ノ取締ハ本會事務委員ニ於テ擔任スル者トス

第四章 審査

第十五條 出品ノ審査ハ五月三日ヨリ同月七日マデニ結了ス

第十六條 出品人ハ出品ノ審査ヲ辭シ若クハ之ヲ拒ミ再審査ヲ請ヒ授與ノ褒賞ヲ辭シ若クハ之ヲ拒ミ又ハ審査ノ決定ニ對シテ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ズ

第五章 褒賞

第十七條 出品優等ノモノニハ褒賞ノ授與ヲ馬政長官ニ請フモノトス

第十八條 出品ニ關シ功勞顯著ナル者ハ其人ノ存亡ニ拘ラス其功勞ヲ表彰セラル、コトアルベシ

第十九條 褒賞授與式ハ五月十日ヲ以テ之ヲ舉行ス

第二十條 詐偽又ハ錯誤ニヨリテ褒賞ヲ受ケタルモノアルトキハ其褒賞ヲ取消シ且ツ之ヲ返還セシメラル、コトアルベシ

第六章 參觀

第二十一條 本會ハ公衆ノ參觀ヲ許ス

第二十二條 參觀人ハ入場券ヲ携ヘ出場ノ際之ヲ門衛ニ渡スベシ

第二十三條 瘋癲人若クハ醉狂人ト認ムルトキハ入場ヲ許サズ又ハ退場セシムルコトアルベシ

第二十四條 手荷物ヲ携帯シ又ハ畜類ヲ牽キテ入場スルコトヲ許サズ

第二十五條 陳列場内ニ於テ喫煙スルコトヲ許サズ

第二十六條 參觀人ハ看守人ノ承諾ヲ得スシテ出品ニ手ヲ觸ルベカラズ

第二十七條 參觀人出品ヲ購入セントスルトキハ看守人ニ申入ルベシ

第七章 事務

第二十八條 本會ハ事務所ヲ設ケ左ノ職員ヲ置ク

事務	事務	事務	事務
事務長	事務委員長	事務委員	事務委員
一人	一人	若干人	若干人
審査長	審査官	書記	
一人	若干人	若干人	

第二十九條 事務長ハ開設地ノ知事ヲ以テ之ニ充テ本會一切ノ事務ヲ統理ス事務長事故アルトキハ事務委員長ニ代理セシメ又事務ノ幾部ヲ委任スルコトアルベシ

第三十條 審査長及審査官ハ馬政長官ニ其派遣ヲ請フモノトス

第三十一條 審査長ハ審査ニ關スル諸規程ヲ定メ審査事務ヲ統理ス

審査官ハ審査長ノ指揮ヲ受ケ出品ノ審査及之ニ關スル事務ヲ分掌ス

第三十二條 事務委員長ハ開設地ノ内務部長タル事務官ヲ以テ之ニ充ツ

事務委員長ハ事務長ノ指揮及委任ヲ受ケ庶務ヲ調理ス
 第三十三條 事務委員ハ聯合各縣委員ノ内ヲ以テ之ニ充ツ事務委員ハ事務長及事務委員長ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ分掌ス

第三十四條 書記ハ事務長之ヲ選任ス書記ハ事務委員長及審査官ノ指揮ヲ受ケ記録計算等ニ從事ス
 (書式)

出品目錄並解説書

何縣何市何町何番地
 出品人 氏 名

番	號	名	稱	種	類	毛	色	生	年	月	日	生	產	地	賣	價
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 一、血 統
- 一、用 途
- 一、褒賞ノ有無

右共進會規則ヲ遵守シ出品可仕且解説書前記ノ通相違無之候也

右

氏 名 印

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會事務所

御 中

(備考) 審査請求上必要ト認ムル事項ハ備考トシテ附記スベシ

第二節 第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會事務所處務規程

第一條 本會事務所ニ庶務、出品、會計、ノ三係ヲ置キ庶務、會計係ハ主催縣委員ヲ以テ之ニ充テ出品係ハ聯合縣委員ヲ以テ之ニ充ツ

第二條 庶務係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 機密文書ニ關スル事項
- 二 印章管守ニ關スル事項
- 三 職員ニ關スル事項
- 四 審査書記、看守人、門衛臨時雇及小使、人夫等ノ雇入並ニ取締ニ關スル事項
- 五 褒賞ニ關スル事項
- 六 儀式ニ關スル事項

七 構内取締ニ關スル事項

八 諸規則ノ制定編纂並ニ統計報告ニ關スル事項

九 文書ノ收受發送ニ關スル事項

十 徽章、通券、門鑑ニ關スル事項

十一 賣店ニ關スル事項

十二 構内諸店ニ關スル事項

右ノ外他ノ主管ニ屬セサル事項

第三條 出品係ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一 出品目錄並ニ解説書整理ニ關スル事項

二 出品及陳列ニ關スル事項

三 審査ニ關スル事項

四 看守人ノ監督ニ關スル事項

五 參考品ニ關スル事項

六 出品ノ賣約ニ關スル事項

七 陳列所取締ニ關スル事項

八 出品物ノ搬出入ニ關スル事項

第四條 會計係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 經費ノ收支並ニ金錢其他有價證券ノ保管出納ニ關スル事項

二 物品調等ニ關スル事項

三 不要品賣却ニ關スル事項

第五條 事務長ノ名ヲ以テ發スル文書其他ノ事項ハ總テ事務長ノ裁決ヲ受ケ之ヲ決行スヘシ

第六條 本規程ニ定メザルモノハ福島縣處務細則ヲ準用ス

第三節 第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會事務委員心得

第一條 委員會場地ニ到着シタルトキハ其旨直ニ事務長ニ届出ベシ歸還ノ時亦同ジ

第二條 委員ハ其管内出品目錄並ニ解説書ヲ整理シ出品ノ陳列看守其他出品ニ關スル總テノ事務ヲ擔任ス

第三條 委員ハ本會事務所ヨリ交付ノ徽章ヲ佩用スベシ

第四條 出品人總代ニ交付スベキ徽章ハ委員ニ於テ請求及返納ノ手續ヲナスベシ

第五條 會場若クハ其附近ニ火災其他非常事變生シタルトキハ速ニ駆付ケ警戒防禦ニ從事スベシ

第六條 出品物ハ遅クモ開會前日迄ニ陳列スベシ若シ陳列ヲ了ヘ難キ事情アルトキハ其旨事務所ニ届

出ツベシ

第七條 會場内ノ柱壁等ニ釘ノ打着ヲ要スル時ハ事務所ニ申出承認ヲ受クベシ

第八條 幕旗等ヲ掲グルトキハ近隣相互ニ協議ノ上支障ナキ様注意スベシ

第九條 開會中ハ各縣ノ委員少クモ一人ツ、必ラズ開場三十分前會場ニ出頭スベシ

第十條 各縣事務所ニハ宿直員ヲ置クベシ

第十一條 褒賞ヲ受ケタル出品ニハ褒賞名ヲ記シタル所定ノ小札ヲ貼付スベシ

第十二條 出品物ノ賣約ハ當該縣ノ事務委員ニ於テ取扱フモノトス

第十三條 委員ハ閉會後ト雖ドモ處務整理其他諸般ノ報告ヲ結了スル迄ハ開會地ニ於テ執務スベシ

第四節 觀覽人心得

一、本會ハ毎日午前第八時ヨリ午後四時マデ觀覽ヲ許ス

但時宜ニ依リ之ヲ伸縮シ又ハ入場ヲ止ムルコトアルベシ

一、瘋顛、醉狂、其他取締上防害ヲ爲スノ虞アリト認メタルトキハ入場ヲ謝絶シ又ハ會場ヨリ立去ラ

シムルコトアルベシ

一、陳列場内ニ於テ喫煙スルコトヲ許サズ

一、係員ノ許可ヲ得ルニアラザレバ出陳牛馬ニ手ヲ觸ル可ラズ

一、陳列ノ牛馬又ハ會場等ヲ模寫撮影セントスルトキハ事務所ノ許可ヲ受クベシ

一、陳列ノ牛馬ヲ購買セントスルトキハ係員ニ申入ルベシ

明治四十一年五月

第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會

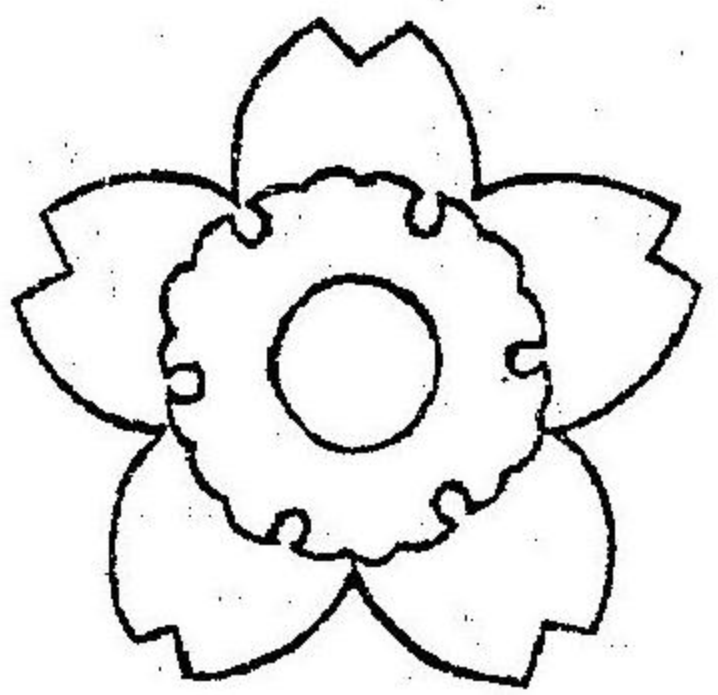
第五節 徽 章

主催縣事務委員 綠色

聯合他縣事務委員 黃色

審 査 官 赤色

共 進 會 徽 章



第五章 職 員

宮城縣

事務委員 藤田 秀陸

事務官補 中田 直吉

技師 高城 半三郎

技手 木村 拙樓

岩手縣

事務委員 田中正 太郎

事務官 菊池 捍

技師 常松 常記

同 藤田 萬次郎

同 奧寺 喜平治

同 工藤 眞藏

同 一條 牧夫

同 竹中 武吉

同 河野 善左衛門

青森縣

事務委員 小原 新三

事務官 菅沼 只三郎

技師 清水 良正

同 川村 常吉

同 三浦 精

秋田縣

事務委員 東條 勝友

技師 坂本 鐵之助

同 梅原 三千

同 小笹 雄助

同 寺崎 安記

同 九島 堅之助

同 渡邊 寅雄

同 鈴木 喜太郎

事務委員 技師 今村治三郎
同 技手 本間代治郎

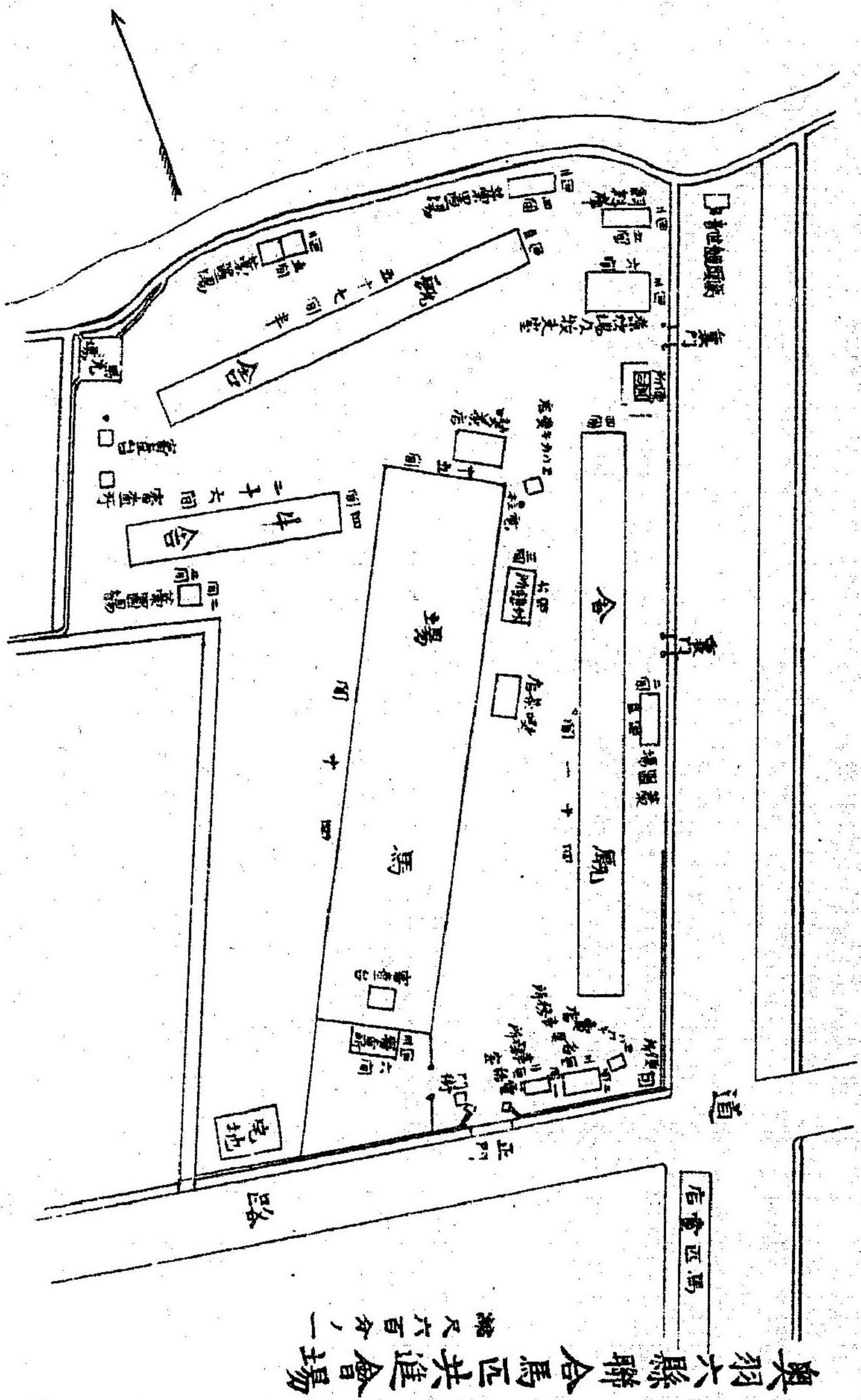
第二節 審査職員

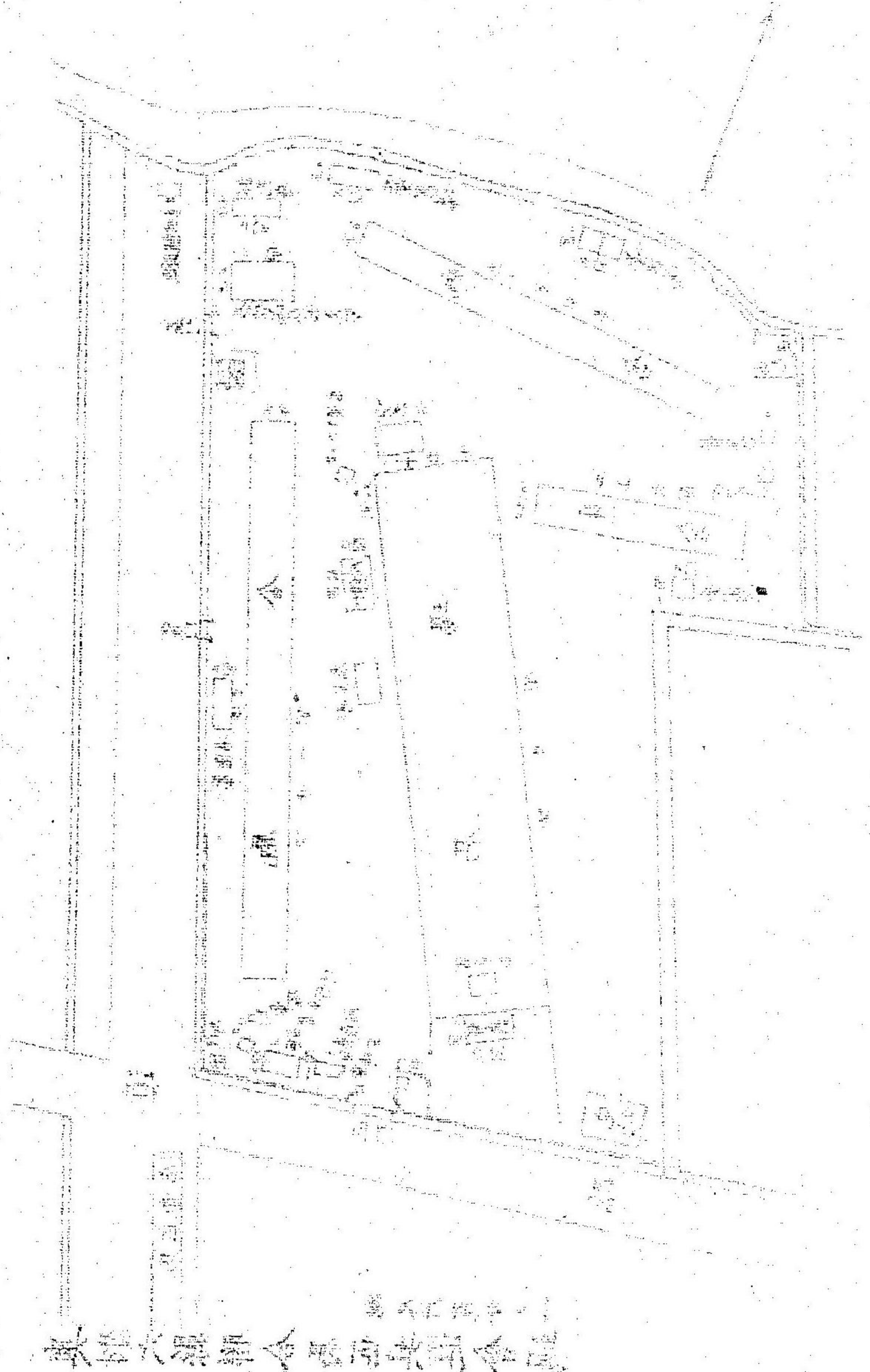
審査長 馬政官 新山莊輔
審査官 同 大橋豐之助
同 同 岸本雄二
審査官附屬 馬政局技手 上田勇
同 同 屬 肥川真一

第六章 會場

第一節 位置及會場略圖

會場ハ福島市字仲間町三十三番地ニアリ同地ハ民有畑地約五千坪ニシテ管理者福島信託會社ヨリ無償ニテ借入レヲ爲セリ而シテ明治四十年十二月下旬起工シ翌四十二年五月二日竣工セリ建築物十四棟建坪五百三十二坪其他附屬工事費取混シ此工費總額七千四百九拾一圓是ニ協賛會ノ建設ニ係ル休憩所及





共用共進會式場建築費ヲ加フルトキハ工費額金八千七百二拾二圓ヲ要セリ

會場内ノ建物ハ門内右側ニ自働電話室主催縣事務委員詰所聯合縣事務委員詰所左側ニ門衛詰所審査場等アリ審査場ノ前方ニ幅十五間長四十五間ノ運動場ノ設ケアリテ木柵ヲ廻ラセリ又東側ニハ四十一間ノ厩舎北側ニハ五十七間半ノ厩舎アリ此厩舎ノ南方ニハ二十六間ノ牛舎アリ其他場内ノ建築物ハ牧夫舎飼料庫飼料渡場便所等數棟アリ尙協賛會ノ設備ニ係ル來賓休憩所飲食食物繪葉書賣店等數棟排列セリ

第二節 建築物及工費調

馬匹共進會建築工事評數工費額調

名	稱	坪	數	工費額	摘要
馬匹共進會場	厩舎及牛舎	三百九十四坪	四、三、七、三、〇〇〇	一、二、四、五、〇〇〇	一、二棟
飼料庫	煮炊場及牧夫室	十坪	二、七、〇、〇〇〇	一、三、五、〇〇〇	
審査場	正門	十坪	一、六、八、〇〇〇	二、七、〇、〇〇〇	
門衛所	門衛所	一坪	七、〇、〇〇〇	一、八、〇〇〇	
便所	便所	一坪	一、八、〇〇〇	三、七、〇〇〇	

名稱	坪數	工費額	摘要
事務所	二坪	三八、〇〇〇	
敷地均シ	二千三百二坪	四七三、〇〇〇	
馬場及木柵	六坪	二〇九、〇〇〇	
板橋	三ヶ所	一七、〇〇〇	
裏門及周圍竹垣	二百七十五間	一九五、〇〇〇	
各縣事務所	六坪	一二〇、〇〇〇	
藁置場所	三十坪	一九五、〇〇〇	
休憩所	十五坪	一〇六、〇〇〇	
審查臺及柵	三坪	一五、〇〇〇	
電話室	三尺四方	一三、〇〇〇	
共進會共用式場	三百坪	一、一二五、〇〇〇	
計		八、七二二、〇〇〇	

三八

第七章 出品

本會ニ出品頭數ハ六十頭ノ豫定ナリシモ山形縣一頭青森縣二頭病氣ノ爲メ出陳セザリシヲ以テ實際陳列セシハ五十七頭其各縣別出品目錄左ノ如シ

青森縣

番號	名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	賣價摘要	住所	出品氏名
一	時浦號	サラブレット種	牝	三十七年九月	星鹿	西津輕郡父サハラブレット種ハホツク號	同	非賣品		西津輕郡車力村	鳴海康之助
二	東雲號	サラブレット種	牝	三十六年四月	星栗	三ノ戸郡父トロッター種デフエンター號	同	同		同	西津輕郡產馬組合
三	軍扇號	サラブレット種	同	三十九年四月	鹿	浦野館村母一回雜種	同	同		上北郡	藤島常太郎
四	淺間嶽號	サラブレット種	同	三十九年四月	同	浦野館村母一回雜種	同	同		上北郡	澤目美正
五	濫澤號	サラブレット種	同	三十六年三月	同	上北郡父トロッター種驛龍號	同	同		上北郡	三本木產馬組合
六	鐵嶺號	サラブレット種	同	三十八年四月	同	上北郡父サハラブレット種橋立號	同	同		同	同
七	龜山號	サラブレット種	同	三十八年四月	栗	上北郡父サハラブレット種滑龍號	同	同		同	同
八	玉川號	サラブレット種	牝	三十九年二月	同	三ノ戸郡父サハラブレット種ブライト號	同	同		同	同
九	寶來號	サラブレット種	牝	三十八年五月	同	三ノ戸郡父サハラブレット種シツノ號	同	同		同	同
一〇	舞鶴號	雜種	同	三十八年六月	黒鹿	三ノ戸郡父一回雜種墨染號	同	同		同	同
一一	山吹號	サラブレット種	牝	三十八年三月	栗	上北郡父アングロアラブ種アロニー號	同	同		同	同
一二	雨乞號	洋種	牝	三十九年三月	鹿	野邊地町母一回雜種子歲號	同	非賣品		同	同

三九

宮城縣

番號名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	賣價	摘要	住所	出品人
一 玉玄號	アングロアラ種	牡	三十七年	栗	玉造郡安ケロアラ種	母退却種	第七フラインゴ	非賣品		仙臺市仙臺産牛馬組合	
二 宮住號	サラブレット種	同	三十七年	青	加美郡安ケロアラ種	母退却種	第七フラインゴ	同		同	
三 花津號	アングロアラ種	同	三十八年	栗	長崎郡安ケロアラ種	母一回種	バリトン號	同		同	
四 玉成號	サラブレット種	同	三十八年	同	玉造郡安ケロアラ種	母退却種	フーリツシニ號	同		同	
五 宮麗號	アングロアラ種	同	三十九年	鹿	加美郡安ケロアラ種	母安ケロアラ種	アリストット號	同		同	
六 宮水號	アングロアラ種	同	三十九年	栗	加美郡安ケロアラ種	母二回種	アリストット號	同		同	
七 小出號	洋種	同	三十九年	鹿	加美郡安ケロアラ種	母退却種	風號	同		同	
八 花生號	トロッター種	同	三十九年	栗	栗山郡安ケロアラ種	母一回種	第八キングスレー號	同		同	
九 松銀號	洋種	同	三十九年	鹿	志田郡安ケロアラ種	母退却種	春島號	同		同	
一〇 小秀號	アングロアラ種	牝	三十八年	同	加美郡安ケロアラ種	母三回種	アリストット號	同		同	
一一 綾翠號	サラブレット種	同	三十九年	同	玉造郡安ケロアラ種	母二回種	アリストット號	同		同	
一二 吉千代號	トロッター種	同	三十九年	鹿	黒川郡安ケロアラ種	母退却種	ケイハ號	同		同	

山形縣

番號名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	賣價	摘要	住所	出品人
一 東雲號	サラブレット種	牡	三十九年	鹿	小國郡安ケロアラ種	母退却種	ザリーフ號	金七百圓		最上郡金田	甲 橋
二 若綠號	トロッター種	牝	三十九年	栗	清水郡安ケロアラ種	母退却種	ランサー號	金五百圓		大藏村	鈴木 熊吉
三 春風號	サラブレット種	牡	同	鹿	小國郡安ケロアラ種	母退却種	ザリーフ號	金七百圓		新庄町	最上郡産馬組合
四 小波號	サラブレット種	同	同	同	小國郡安ケロアラ種	母二回種	岩手號	金七百圓		同	
五 新玉號	退却種	牝	同	同	最上郡安ケロアラ種	母退却種	超影號	金三百五		東小國村	岸 太四郎
六 若綠號	退却種	牡	同	同	大藏村安ケロアラ種	母退却種	武光號	金六百圓		新大藏村	小屋十右衛門

福島縣

番號名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	賣價	摘要	住所	出品人
一 ウロー號	アングロアラ種	牡	三十八年	栗	岩瀬郡安ケロアラ種	母退却種	ブリガン號	非賣品		岩瀬郡	岩瀬郡産馬組合
二 セイロン號	アングロアラ種	同	三十九年	鹿	須賀川郡安ケロアラ種	母退却種	玉照號	同		須賀川町	岩瀬郡産馬組合
三 縣電號	サラブレット種	同	三十九年	栗	月輪郡安ケロアラ種	母二回種	ブリガン號	同		耶麻郡	耶麻郡産馬組合
四 都路號	ハクニ種	同	三十八年	星栗	高野郡安ケロアラ種	母退却種	高野號	同		三春町	田村郡産馬組合
五 アルコニ號	サラブレット種	同	三十九年	栗	瀨川郡安ケロアラ種	母二回種	大錦號	同		常田郡	常田郡産馬組合
六 パイオネ號	ハクニ種	同	三十九年	鹿	上野郡安ケロアラ種	母退却種	八里庄號	非賣品		平石城町	石城郡産馬組合

番號名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	賣價	摘要	住所	出品人
一 芳仙號	種トロッター雑	牡	三十六年	鹿	岩手郡父トロッター種芳仙號	岩手郡父トロッター種芳仙號	非賣品	盛岡市盛岡産馬組合	盛岡市盛岡	盛岡市盛岡	盛岡市盛岡
二 外高號	種サラブレット	同	三十七年	同	岩手郡父サラブレット種四號	岩手郡父サラブレット種四號	金參千五	岩手郡高橋百次郎	岩手郡高橋	岩手郡高橋	岩手郡高橋
三 機山號	種ハックニー雑	同	三十八年	同	沼宮内町父ハックニー種	沼宮内町父ハックニー種	百圓	沼宮内町大橋孫四郎	沼宮内町大橋	沼宮内町大橋	沼宮内町大橋
四 大谷號	種マンゲロノル	同	三十九年	黒鹿	浄法寺村父マンゲロノル種	浄法寺村父マンゲロノル種	金壹千圓	浄法寺村大橋孫四郎	浄法寺村大橋	浄法寺村大橋	浄法寺村大橋
五 桂川號	種ハックニー雑	同	三十九年	栗	有藏村父ハックニー種グランドトリエトル	有藏村父ハックニー種グランドトリエトル	金貳千圓	宮守村照内愛助	宮守村照内	宮守村照内	宮守村照内
六 上有藤號	種マンゲロノル	同	三十九年	鹿	下閉伊郡父マンゲロノル種ラントトリエトル	下閉伊郡父マンゲロノル種ラントトリエトル	金千五百	遠野町森川春治	遠野町森川	遠野町森川	遠野町森川
七 震天號	種ハックニー雑	同	三十七年	栗	有藏村父ハックニー種プロムブトンスウエ	有藏村父ハックニー種プロムブトンスウエ	同	同	同	同	同
八 美良號	種マンゲロノル	牝	三十九年	鹿	下閉伊郡父マンゲロノル種三回雜種	下閉伊郡父マンゲロノル種三回雜種	非賣品	氣仙郡氣仙産馬組合	氣仙郡氣仙	氣仙郡氣仙	氣仙郡氣仙
九 小松號	種ハックニー雑	同	三十九年	同	花輪村父ハックニー種	花輪村父ハックニー種	同	下閉伊郡藤田市太郎	下閉伊郡藤田	下閉伊郡藤田	下閉伊郡藤田
一〇 征露號	種マンゲロノル	同	三十八年	栗	輕米村父マンゲロノル種ラハニール號	輕米村父マンゲロノル種ラハニール號	金八百圓	岩手郡小田太郎兵衛	岩手郡小田	岩手郡小田	岩手郡小田
一一 盛號	種トロッター雑	牝	三十八年	鹿	盛岡市父トロッター種	盛岡市父トロッター種	非賣品	盛岡市平野久兵衛	盛岡市平野	盛岡市平野	盛岡市平野
一二 松風號	種マンゲロノル	牝	三十九年	同	下有住村父マンゲロノル種ウハロン號	下有住村父マンゲロノル種ウハロン號	金貳千五	同	同	同	同

秋田縣

番號名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	賣價	摘要	住所	出品人
一 黃金號	種ハックニー雑	牡	三十七年	鹿	北秋田郡父ハックニー種スクワイヤ號	北秋田郡父ハックニー種スクワイヤ號	非賣品	南秋田郡秋田産牛馬組合	南秋田郡秋田	南秋田郡秋田	南秋田郡秋田
二 天龍號	種ハックニー雑	同	三十八年	青	平鹿郡父ハックニー種コルネリアス號	平鹿郡父ハックニー種コルネリアス號	同	同	同	同	同
三 雄飛號	種ハックニー雑	同	三十八年	鹿	平鹿郡父ハックニー種コルネリアス號	平鹿郡父ハックニー種コルネリアス號	同	同	同	同	同
四 黒澤號	種ハックニー雑	同	三十八年	青	山内郡父ハックニー種コルネリアス號	山内郡父ハックニー種コルネリアス號	同	同	同	同	同
五 豐景號	種ハックニー雑	牝	三十七年	黒鹿	由利郡父ハックニー種第二シニヘルブ號	由利郡父ハックニー種第二シニヘルブ號	金千五百	同	同	同	同
六 長陽號	種ハックニー雑	同	三十九年	栗	仙北郡父ハックニー種ピオニール號	仙北郡父ハックニー種ピオニール號	同	同	同	同	同
七 花車號	種ハックニー雑	牝	三十八年	同	長野郡父ハックニー種マツチレス號	長野郡父ハックニー種マツチレス號	金千圓	同	同	同	同
八 香雲號	種トロッター雑	同	三十六年	同	千屋村父ハックニー種ゴールトタストチヌ	千屋村父ハックニー種ゴールトタストチヌ	金千五百	同	同	同	同
九 尾花號	種ハックニー雑	同	三十八年	同	西明寺村父ハックニー種	西明寺村父ハックニー種	圓	同	同	同	同
一〇 第春女號	種ハックニー雑	牝	三十九年	同	西明寺村父ハックニー種	西明寺村父ハックニー種	非賣品	同	同	同	同
一一 春雲號	種サラブレット	同	三十九年	同	高梨郡父ハックニー種マクキス號	高梨郡父ハックニー種マクキス號	同	同	同	同	同
一二 國輝號	種ハックニー雑	同	三十七年	鹿	北秋田郡父ハックニー種スクワイヤ號	北秋田郡父ハックニー種スクワイヤ號	同	同	同	同	同

第八章 審査

審査ハ五月三日ヨリ同月七日ニ至ル三日間馬匹共進會場審査場ニ於テ舉行ス審査長及審査官ノ氏名左ノ如シ

審査長	馬政官	新山 莊 輔
審査官	馬政官	大橋 豐之助
審査官	馬政官	岸 本 雄 二

審査ハ五月五日ヨリ開始シ同日ハ午後一時ニ着手シ午後四時ニ了リ翌六日及ヒ七日ハ午前八時ニ着手シ午後四時ニ了リ審査ヲ終了セリ

審査概況

五月五日ハ三歳牡四歳以上ノ牡三歳ノ牝三歳以上ノ牝ノ四團トナシ一團毎ニ審査場ニ牽出シ大體検査ヲ行ヒ翌六日ハ細密検査ヲ施行シ翌七日ハ一頭乃至二頭ツヽ馬場ニ於テ騎乗検査ヲ行フ而シテ該検査ハ主トシテ四歳以上ノモノニ行ヒタリト雖ドモ三歳ニシテ乗馭シ得ルモノハ同様騎乗検査ヲ爲シ他ハ之ヲ牽運動セシメタリ終テ比較検査ニ移リ數回ノ審議ヲ爲シタル後茲ニ全ク審査結了セリ

第九章 褒賞

馬政局ヨリ本會出品ノ優等馬匹ニ對シ授與セラレタル賞狀及賞牌ノ様式及雛形左ノ如シ

何縣何郡何町何村

所有者 何ノ誰

一何洋何毛牝馬

號

年齡 生

特徴何

一 等 賞	金 牌
二 等 賞	銀 牌
三 等 賞	銅 牌
四 等 賞	褒 狀

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會審査ノ成績ニ依リ之ヲ授與ス

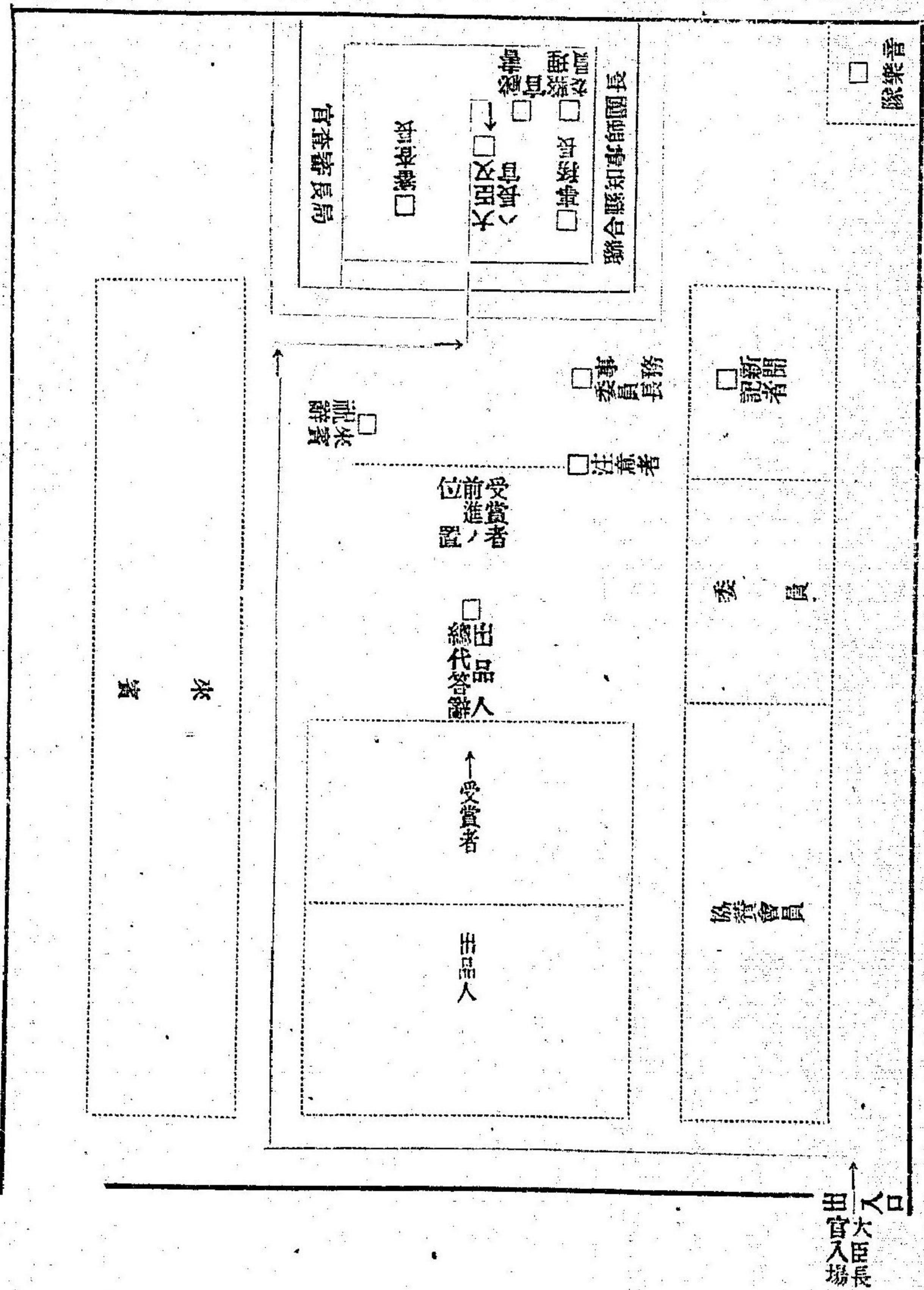
明治四十一年五月十日

馬政長官從二位勳一等子爵 曾 彌 荒 助

馬匹共進會受賞者心得

一等ヨリ三等ニ至ル迄ハ一人毎ニ受賞者ヲ呼出シ審査長讀上ノ後賞狀及賞品ヲ授與ス

圖場式與授賞褒



注意

- 一、呼出ニ應ジ正面ノ中央ニ立テ審査長ノ讀上ヲ待ツ
- 二、審査長讀上ノ後受賞者ハ長官ノ前ニ進ミ賞狀及賞品ヲ受ク
- 四等賞ハ總代人ニ授與ス

注意

- 一、總代一人呼出ニ應ジ正面ノ中央ニ立ツ
- 二、審査長四等賞ヲ授クベキ人名悉皆ヲ讀上ゲ後テ總代人ヲ呼出ス
- 三、總代人ハ長官ノ前ニ進ミ賞狀及賞品ヲ受ク

第十章 牧畜研究會

本會ニ出陳審査ノ結果一等賞ヲ得タル馬匹三頭ノ内更ニ一等賞ノ一番左記ノ馬匹ニ對シ牧畜研究會ヨリ金牌一個ヲ贈與セラレタリ

青森縣上北部三本木村

澁澤號 トロツター種 牡 鹿毛 三十六年 三本木產馬組合

第十一章 受賞者一覽表

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會受賞名簿

一等賞

金牌 金五百圓

名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	住所	氏名
澁澤號	トロツター種	牡	三十六年	鹿	上北郡父トロッター種	三本木村母洋種	青森縣上北郡三本木村	三本木產馬組合	
ウロ、號	アングロアラ種	牡	三十八年	栗	岩瀬郡父アングロアラ種	須賀川町母サラブレット種	福島縣岩瀬郡須賀川町	岩瀬郡產馬組合	
震天號	ハックニー種	牡	三十七年	栗	氣仙郡父ハックニー種	下有住村母トロッター種	岩手縣氣仙郡世田米村	氣仙產馬組合	

二等賞

銀牌 金參百圓

名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	住所	氏名
芳仙號	トロツター種	牡	三十六年	鹿	岩手郡父トロッター種	玉山村母二回雜種	岩手縣盛岡市盛岡產馬組合		
國輝號	ハックニー種	牡	三十七年	鹿	北秋田郡父ハックニー種	東館村母一回雜種	秋田縣平鹿郡里見村	高橋宇市	
長陽號	同	北	三十九年	栗	仙北郡父ハックニー種	長野村母一回雜種	秋田縣仙北郡中川村	戸澤チヨ	
桂川號	同	牡	三十九年	栗	氣仙郡父ハックニー種	横田村母一回雜種	岩手縣上開伊郡遠野町	森川春治	

三等賞

銅牌 金百五拾圓

名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	住所	氏名
小松號	ハックニー種	北	三十九年	鹿	岩手郡父ハックニー種	西山村母一回雜種	岩手縣岩手郡西山村	小田太郎兵衛	
美良號	マンゲロノル種	北	三十九年	鹿	下開伊郡父アングロマン種	花輪村母二回雜種	岩手縣下開伊郡花輪村	藤田市太郎	
天龍號	ハックニー種	牡	三十八年	青	平鹿郡父ハックニー種	八澤木村母一回雜種	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產馬組合	
盛號	トロツター種	北	三十八年	鹿	岩手郡父トロッター種	岩手縣盛岡市	岩手縣盛岡市	野久兵衛	
山吹號	アングロアラ種	北	三十八年	栗	上北郡父アングロアラ種	野邊地町母三回雜種	青森縣上北郡野邊地町	島谷安藏	
嶽嶺號	サラブレット種	牡	三十八年	鹿	上北郡父サラブレット種	四和村母一回雜種	青森縣上北郡三本木村	三本木產馬組合	
大谷號	マンゲロノル種	牡	三十九年	黒鹿	下開伊郡父アングロマン種	有藝村母雜種	岩手縣上開伊郡宮守村	照井愛助	

名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	住所	出品人
黃金號	ハックニール種	牡	三十七年	鹿	北秋田郡父ハックニール種	スタコリス	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
セイロン	ブ種	牡	三十九年	鹿	耶麻郡父アングロアラブ種	ブリガン	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
松風號	マン種	牡	三十九年	鹿	氣仙郡父アングロマン種	ウハロン	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
東雲號	トロッター種	牡	三十六年	鹿	下有住村母二回種	デフエンター	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
官水號	アングロアラブ種	牡	三十九年	鹿	加美郡父アングロアラブ種	アリスト	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合

四等賞 褒狀

名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	住所	出品人
マルコニ	サラブレッド	牡	三十九年	栗	田村郡父サラブレッド種	マスタコリス	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
花車號	ハックニール種	牡	三十八年	栗	千屋北郡父ハックニール種	マツチレス	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
豐榮號	ベルシエロン種	牡	三十七年	栗	下郷郡父ベルシエロン種	ニシユヘル	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
舞鶴號	種	牡	三十八年	栗	三引郡父種	ノール	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
征露號	マン種	牡	三十八年	栗	輕米郡父マン種	ラバエール	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
山路號	ハックニール種	牡	三十八年	栗	瀨田川郡父ハックニール種	バローコロ	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合

名號	種類	性	生年月	毛色	產地	血	統	住所	出品人
縣電號	サラブレッド	牡	三十九年	栗	高野村郡父サラブレッド種	マスタコリス	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
外高號	サラブレッド	牡	三十七年	栗	岩手郡父サラブレッド種	ファミ	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
軍扇號	サラブレッド	牡	三十九年	栗	上北郡父サラブレッド種	ゲノール	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
玉川號	サラブレッド	牡	三十九年	栗	浦野館町母一回種	ノール	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
パイオネ	ハックニール種	牡	三十九年	栗	石城郡父ハックニール種	ベツトアレキサンダー	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
官龍號	アングロアラブ種	牡	三十九年	栗	加美郡父アングロアラブ種	アリスト	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
時浦號	サラブレッド	牡	三十七年	栗	西津輕郡父サラブレッド種	ハボック	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
春雲號	サラブレッド	牡	三十九年	栗	由利郡父サラブレッド種	ゼウス	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
雄飛號	ハックニール種	牡	三十八年	栗	平鹿郡父ハックニール種	コルネリア	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
黒澤號	ベルシエロン種	牡	三十八年	栗	山内郡父ベルシエロン種	ニシユヘル	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
小波號	種	牡	三十六年	栗	最上郡父種	ホコ	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合
宮往號	サラブレッド	牡	三十七年	栗	加美郡父サラブレッド種	第七フラミンゴ	秋田縣南秋田郡寺内村	秋田縣產牛馬組合	秋田縣產牛馬組合

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會受賞縣別歩合表

縣名	出陳頭數	受賞				數計	受賞者百分比
		一等	二等	三等	四等		
青森縣	一〇				三	八〇・〇	
宮城縣	一二				二	二五・〇	
山形縣	五				一	二〇・〇	
福島縣	六				四	一〇〇・〇	
岩手縣	一一				一	八三・三	
秋田縣	一二		二		〇	七五・〇	
合計	五七		二		五	六四・九	

五二

第十二章 經費

第一節 明治四十年度第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會聯合費豫算

科目	四十年年度	四十一年年度	合計
第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會費	九六、〇〇〇	一、三五六、〇〇〇	一、四五二、〇〇〇
雜給	五二、八五〇	一〇一、八〇〇	一五四、六五〇
印刷費	四三、一五〇	二四二、二〇〇	二八五、三五〇
馬匹飼料費		四六二、〇〇〇	四六二、〇〇〇
開閉場及授與式費		一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
合計			一、四五二、〇〇〇

豫備費	四〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇
-----	---------	---------

第二節 明治四十年度第一回奧羽六縣聯合共進會繼續費豫算

科目	四十年年度	四十一年年度	合計
第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會費	七、四四〇、〇〇〇	三、二六一、〇〇〇	一〇、七〇一、〇〇〇
會場費		八三〇、〇〇〇	八三〇、〇〇〇
事務費	一四三、〇〇〇	一五四、〇〇〇	二九七、〇〇〇
雜費	四〇四、〇〇〇	一、五八六、〇〇〇	一、九九〇、〇〇〇
建築費	六、八七七、〇〇〇	四六五、〇〇〇	七、三四三、〇〇〇
負擔費	一六、〇〇〇	二二六、〇〇〇	二四二、〇〇〇
合計			一、四五二、〇〇〇

第十三章 案内狀

本會ニ於テ來觀案内狀ニ優待券ヲ添へ配付シタル重ナル場所ハ後記ノ通ニシテ其招待狀ヲ發送シタル人員約八百人餘ニ上レリ

- 一、聯合各縣廳、各郡市役所、縣會議員、町村長、産牛馬組合、種畜場、農事試驗場、其他畜産業篤志者

- 一、各省、各大臣、次官、局長、其他各高等官
- 一、第二師團長、第十師團長、旅團長、聯隊長、獸醫部員
- 一、軍馬補充本部及支部
- 一、馬政局員
- 一、其他

案内狀様式

拜啓來五月三日午前十時第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會開會式、同月十日午前十時褒賞授與式舉行候間御臨席被成下度此段御案内申上候敬具

明治四十一年四月二十日

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會

事務長 平岡定太郎

殿

拜啓五月三日第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會開會式後花やしきニ於テ聊カ祝意ヲ表スル爲メ報察差上度候間御枉駕被下度此段御案内申上候敬具

明治四十一年五月

第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會

事務長 福島縣知事 平岡定太郎
協賛會長 平岡定太郎

殿

表

追テ準備ノ都合モ有之候間在御手敷御來會ノ有無及其日時前以テ御一報相煩度候

注意

- 一、御來會ノ節ハ本券受付係へ御示ノ上徽章御受取相成度候
- 一、服装ハ制服「フロックコート」又ハ紋付羽織袴御婦人ハ白襟紋付御著用相成度候

裏

拜啓五月十日第六回奥羽六縣聯合共進會並ニ第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會褒賞授與式后聊カ祝意ヲ表センカ爲メ共進會場内ニ於テ園遊會相催候間同日午後一時御枉駕被下度此段御案内申上候敬具

明治四十一年五月

奥羽六縣聯合共進會

事務長 福島縣知事 平岡定太郎
協賛會長 平岡定太郎

殿

第十四章 雜件

- 一、雜踏取締、盜難豫防、火災警備ノ爲メ特ニ巡查三名消防手三名ノ出張ヲ請ヒ晝夜場内ノ取締ニ從事セシメタリ
- 一、開會中馬匹賣店ヲ出シタルハ秋田、岩手、福島ノ三縣ニシテ其出陳頭數ハ秋田六頭、岩手十二頭、福島五頭、合計二十一頭ナリ而シテ賣店設置ノ箇所ハ馬匹共進會場ノ南方接續セル土地ニシテ新ニ厩舎ヲ設置シ收容陳列セリ

一、馬匹共進會場内ニ電話架設ノ計畫ニテ當該官廳ニ請求シタリシガ既ニ豫定ニ達シタル後ニテ新設許可セラレズ頗ル不便ヲ感ズルノ折柄幸ニ福島郵便局長田尻種彦氏ノ盡力ニ依リ自動電話ヲ架設スルニ至リ大ニ便益ヲ與ヘラレタリ

一、協賛會接待所ニ於テ優待券所持者ニ變シタル菓子ハ其總數三千個一日平均三百個ニ當レリ

一、爲參考協賛會規則會費等ヲ左ニ掲ク

一、五月十三日當市公會堂ニ於テ開催セル實業大會ノ席上ニ於テ馬政長官ノ送ラレタル馬匹改良談ノ原稿ヲ得タレバ爲參考本書ニ載ス

秋田縣 賣店出陳馬匹名簿

種類	性	名稱	毛色	年齡	身幹	產地	血	統	賣價	住所	陳氏名
一回雜種	牡	熊岳	青	七	五、二五	仙北郡 檜木内村	父ハハックニ一種ビオニハ號	一、〇〇〇	同	澤西根村	佐藤長左衛門
二回雜種	牡	臥虎	青	四	五、二〇	同	母ハハックニ一種ビオニハ號	八〇〇	同	角館町	米澤廣吉
退却雜種	牡	金井	鹿	五	五、〇〇	同	父ハハックニ一種ビオニハ號	四五〇	同	標西根村	照井傳左衛門
一回雜種	牡	鳥海	鹿	四	五、一〇	同	父ハハックニ一種ビオニハ號	四〇〇	同	平鹿町	若林源之助
二回雜種	牡	宮榮	鹿	四	四、九〇	同	父サハラブレット種第三カズテン號	三五〇	同	榮村	宮岡兵吉

岩手縣

種類	性	名稱	毛色	年齡	身幹	產地	血	統	賣價	住所	陳氏名
一回雜種	牡	一號	鹿	四		岩手郡 梁川村	母栗毛	五五〇			
三回雜種	牡	二號	流星	五		氣仙郡 有住村	母二回雜種栗毛新冠産	五二五			
一回雜種	牡	三號	鹿	四		岩手郡 川村	母栗毛内國産				
一回半	牡	四號	鹿	四		岩手郡 玉山村	母退却雜種栗毛三山産	六五〇			
二回雜種	牡	五號	鹿	四		上閉伊郡 野母	母一回雜種鹿	一、二〇〇			
二回雜種	牡	六號	栗	四		岩手郡 玉山村	母栗毛玉山産	六〇〇			
二回雜種	牡	七號	鹿	四		上閉伊郡 遠野	母一回栗毛	二二五			
二回雜種	牡	八號	栗	四		下閉伊郡 川屋村	母トロッター一回雜種				
二回雜種	牡	九號	黑鹿	四		岩手郡 梁川村	母トロッター種鹿毛フラインシ號	二〇〇			
一回雜種	牡	十號	鹿	五		下閉伊郡 千徳村	母退却鹿	二五〇			
退却	牡	十一號	栗	五		岩手郡 梁川村	母三回雜種				
二回雜種	牡	十二號	鹿	六		岩手郡 玉山村	母一回雜種				

種類	性	名稱	毛色	年齢	身幹	產地	血統	賣價	出所	氏名
サラブレッド	牡	富成號鹿		三		伊達郡父サラブレッド種		円	住	伊達郡佐久間常七
五回雜種	牡	芳國號栗		四		岩手縣			信	川村半澤滿喜江
ハツクニ一種	牝	レデーコ鹿		三		安達郡父ハツクニ一種サートカ1號			信	川村半澤滿喜江
七回雜種	牡	島晃號鹿		四		飯野郡父アングロアラブ種コルソ1號			飯	野村服部宗右衛門
三回雜種	牡	滿洋號栗		五		岩手縣		五五〇	信	川村半澤滿喜江

第六回奥羽六縣聯合共進會協賛會規則

第一章 總則

- 第一條 本會ハ第六回奥羽六縣聯合共進會ノ事業ヲ協賛シ同會ニ關スル諸般ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ第六回奥羽六縣聯合共進會協賛會ト稱シ事務所ヲ福島市ニ置ク
- 第三條 本會ノ施設事項ハ概ネ左ノ如シ
- 一 案内記及必要ノ圖書ヲ發行スルコト
 - 二 會場内及適當ノ地ニ接待所ヲ設置スルコト
 - 三 各種大會ノ開設ヲ翼賛スルコト
 - 四 餘興ノ設備ヲ爲スコト
 - 五 會場其他ノ裝飾ヲ爲スコト
 - 六 觀覽者ノ宿所其他ノ便宜ヲ謀ルコト
 - 七 共進會關係者ヲ優待スルコト
 - 八 其他本會ノ目的ヲ達センカ爲メ必要ト認ムル事項
- 第四條 本會ハ本會ノ目的ヲ替助スル有志者ヲ以テ組織ス
- 第五條 本會ノ經費ハ會員ノ醵金及篤志者ノ寄附ヲ以テ之ニ充ツ

第二章 會員

- 第六條 會員ハ左ノ四種トス
- 名譽會員 貳百圓以上ノ醵金者若クハ會長ノ推薦シタル者
 - 特別會員 百圓以上ノ醵金者
 - 通助會員 十圓以上ノ醵金者
 - 賛助員 一圓以上ノ醵金者

第七條 各會員ニハ左ノ待遇及便宜ヲ與フルモノトス

賛助員

- 一 徽章 章 銅色 二 共進會案内圖 一部
- 三 乙種優待券(十回限) 一枚 四 餘興無料觀覽券 一枚
- 五 美術展覽會入場券 一枚 六 會場内接待所ニテ茶菓ヲ饗應ス

通常會員

- 十圓以上ノ贖金者
- 一 徽章 章 銀色 二 共進會案内記 一部
- 三 甲種優待券(開會中) 一枚 四 餘興無料觀覽券 五枚
- 五 美術展覽會入場券 五枚 六 會場内接待所ニテ茶菓ヲ饗應ス
- 二十圓以上ノ贖金者
- 一 徽章 章 銀色 二 共進會案内記 一部
- 三 甲種優待券(開會中) 一枚 四 餘興無料觀覽券 十枚
- 五 美術展覽會入場券 十枚 六 會場内接待所ニテ茶菓ヲ饗應ス
- 七 園遊會ニ招待ス

五十圓以上ノ贖金者

- 一 徽章 章 銀色 二 共進會案内記 一部
- 三 甲種優待券(開會中) 三枚 四 餘興無料觀覽券 二十枚
- 五 美術展覽會入場券 二十枚 六 會場内接待所ニテ茶菓ヲ饗應ス
- 七 園遊會ニ招待ス 八 諸式ニ案内ス

特別會員

- 一 徽章 章 金色 二 共進會案内記 二部
- 三 甲種優待券(開會中) 五枚 四 餘興無料觀覽券 三十枚
- 五 美術展覽會入場券 三十枚 六 會場内接待所ニテ茶菓ヲ饗應ス
- 七 園遊會ニ招待ス 八 諸式ニ案内ス
- 九 宴會ニ招待ス

名譽會員

- 一 特別會員ノ受クル待遇及便宜 二 貴賓饗應席ニ招待ス

第八條 金員及物品(時價ニ換算ス)ヲ寄附シタルモノハ金額ニ應シ會員相當ノ待遇ヲナスモノトス

第九條 會員ノ贖金ハ之ヲ一回ニ納付セシム

但便宜分納スルコトヲ得

第三章 役員

第十條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長	一名	副會長	二名
幹事	若干名	評議員	若干名
委員	若干名	事務員	若干名

第十一條 本會ニ顧問若干名ヲ置ク顧問ハ會長之ヲ推薦ス

第十二條 會長副會長ハ發起人會ニ於テ之ヲ選舉シ其他ノ役員ハ會長之ヲ囑託又ハ選任ス

第十三條 會長ハ本會ノ事務ヲ統理シ本會ヲ代表シ且ツ會議ノ議長トナル

第十四條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其事務ヲ代理ス

第十五條 顧問ハ學識名望アル士ニ囑託シ本會ノ顧問ニ具フ

第十六條 評議員ハ會長ノ召集ニ依リ重要ナル會務ニ參與ス

第十七條 幹事ハ會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分擔ス

第十八條 委員ハ會長ヨリ分囑セラレタル事務ヲ掌ル

第十九條 事務員ハ有給トシ上司ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第四章 附則

第二十條 本會ハ決算報告ト同時ニ解散スルモノトス

第六回奥羽六縣聯合共進會協賛會豫算

收入

科	目	金額	備考
第一款	協賛會費	四〇、〇〇〇	
第一項	會員醜出金	三五、〇〇〇	
第一目	福島市醜出金	二〇、〇〇〇	
第二目	他郡市醜出金	一五、〇〇〇	
第二項	縣補助金	五、〇〇〇	

支出

科	目	金額	備考
第一款	事務所費	二、六六九	
第一項	俸給及雜給	八二四	
第一目	書記給	三三六	
第二目	報酬手当	三〇〇	會長幹事評議員報酬手当其他實費支辨ノ費用

科	目	金額	備考
第三目 雜	第四目 惠與給	一八三〇〇〇	小使及給仕
	第二項 備品費	一六六〇〇〇	卓及椅子
	第三項 消耗品費	一八二〇〇〇	
	第四項 通信運搬費	二〇〇〇〇〇	
	第五項 印刷費	五〇〇〇〇〇	
	第六項 被服費	八〇〇〇〇	小使及給仕
	第七項 徽章費	三五〇〇〇	會員徽章
	第八項 人夫賃費	四二八〇〇〇	
	第九項 宿直賄費	一一〇〇〇〇	書記及小使賄費
	第二款 建築費	四、八五〇〇〇	
第一項 建築費	第一目 貴賓館費	三、六五〇〇〇	
	第二目 四方屋費	三、五〇〇〇〇	
	第三目 共同椅子費	一〇〇〇〇〇	二棟
	第四目 公園設備費	一、二〇〇〇〇	十脚
第一目 信天山費	第一項 信天山費	一七五〇〇〇	共同椅子五脚一脚五圓(貳拾五圓) 屋臺一棟(百五拾圓)
	第二項 辨天山費	一七五〇〇〇	同

科	目	金額	備考
第三目 紅葉山費	第二款 接待所費	八五〇〇〇〇	招待員接待所(十間五間)一棟(貳百五拾圓)音樂堂(八角亭)一棟(百圓)庭園費(五百圓)
	第一項 備品消耗品費	九〇〇〇〇	備品費(百圓)
	第二項 點燈費	六〇〇〇〇	消耗品費(一人五錢一萬八分)(五百圓)
	第三項 裝飾費	一九四〇〇〇	狐狀燈二個(百七拾七圓)十燭光十個(七圓五拾錢)設備費(五圓)賞(五圓)
	第四款 餘興費	一〇七〇〇〇	
	第一項 奏樂費	五、五八〇〇〇	紅葉山一日七圓(貳百八拾圓)辨天山一日五圓(貳百圓)信天山一日五圓(貳百圓)
	第二項 烽火費	六八〇〇〇	開會式晝三十五、夜二十五、裝式晝三十、夜三十、其他百四十計二百五十發一發壹圓、器械花火百圓、灌勢イアルミネーション
	第三項 點燈費	四、五〇〇〇	能樂、芝居、角力、神樂、踏躑、聯合五縣躑
	第五項 演伎費	二、四〇〇〇	
	第五款 祭典幣帛料費	二、四五〇〇	
第一項 稻荷神社	第一項 祭典幣帛料	四、五〇〇〇	
	第二項 稻荷神社	一、五〇〇〇	
第二項 招魂社	第一項 招魂社	一、五〇〇〇	
	第二項 招魂社	一、五〇〇〇	
第六款 諸大會補助費	第一項 實業大會	二、九〇〇〇	
	第二項 教育大會及展覽會	三〇〇〇〇	
	第三項 美術展覽會	一、〇〇〇〇	
	第四項 大日本農會	二〇〇〇〇	

料目	金額	備考
第五項 大日本蠶絲會	二〇〇〇	
第六項 花火共進會	三〇〇〇	
第七項 盆裁陳列會	二〇〇〇	
第八項 音樂會	一〇〇〇	
第九項 諸大會	四〇〇〇	五十人以上五圓、百人以上拾圓、百人ヲ増ス毎三五
第七款 待遇	一九、七〇〇	
第一項 開會式	六〇〇〇	
第二項 褒賞授與式	二、〇〇〇	
第三項 閉會式	五〇〇〇	
第四項 貴賓待遇費	六、五〇〇	
第五項 來賓待遇費	九、〇〇〇	
第六項 各縣事務員待遇費	二〇〇〇	
第七項 審查官待遇費	二〇〇〇	
第八項 審查員待遇費	二〇〇〇	
第九項 回遊列車待遇費	五〇〇〇	
第八款 廣告費	一、三五〇	
第一項 案內記印刷費	一、〇〇〇	
第二項 廣告料	三〇〇〇	

第九款 雜費	第一項 宿舍設備補助費	第二項 車代	第三項 綠門費	第十款 豫備費	合計
一、一〇〇	五〇〇	四〇〇	二〇〇	五〇〇	四〇、〇〇〇
學生其他家賃、停車場前出張所費					

第六回奧羽六縣聯合共進會協賛會費郡市釀出豫定表

郡	市	金額	備考
信伊	夫達	一、一四二	
安安	達達	一、七七〇	
岩南	積積	一、二一三	
北南	瀨瀨	八七〇	
耶北	津津	七一四	
會會	津津	二八五	
會會	麻麻	四〇〇	
	沼沼	九七一	
		六一四	

郡	市	金額
大東	沼川	五〇〇
石西	河川	四七一
石田	川	七九九
双葉	村	四四二
相馬	城	一、一三三
若松	馬	一、五六九
計		五五七
		一、〇四二
		五二八
		一五、〇〇〇

六八

備考

一、福島市ノ配當額ハ貳萬圓トス

二、共進會關係ノ疎密ニヨリ各郡市ヲ左ノ等級ニ區別シ其額ヲ定メタリ

信夫郡	一等地	三割増
伊達郡	二等地	二割増
安達郡	三等地	一割増

他郡市 四等地

馬政長官ノ馬匹改良談

於第一回奥羽六縣聯合馬匹共進會

馬匹改良ハ當今ノ急務ナリ政府ハ既ニ百般ノ手段ヲ盡シテ其奏功ニ勉メ國民亦漸ク其必要ノ所以ヲ諒シテ改良發展ノ氣運茲ニ將ニ熟セントスルアリ須ク當業者ノ一大奮勵飛躍ヲ要スルノ秋ニ當リ奥羽六縣聯合馬匹共進會ノ開催ヲ見ルハ誠ニ時宜ニ適セルモノト謂フ可ク其斯業上ニ及ボス影響必ズヤ多大ナルベキヲ信ジテ深ク欣喜ニ堪ヘザル所ナリトス東北地方ハ既ニ駿良ノ產地トシテ永ク其名聲ヲ維持セリ思フニ今回ノ出陳馬匹ハ其資質善美優良ナルハ勿論多年勉勵ノ功績ヲ表示シテ其成果大ニ見ルベキモノアリシナラム不幸ニシテ微恙アリ爲メニ親シク其盛況ヲ見ル能ハズ遺憾極リナシ乃チ一言聊カ平生ノ所思ヲ述ベ敢テ將來ニ對スル希望ノ一端ヲ表白セントス

奥羽六縣由來馬ヲ産スルコト多ク年々駿良ノ産出又少ナカラズシテ産馬業ノ聲譽久シク全國ニ冠タルハ蓋シ土地ノ廣キニ比シテ人口多カラズ産馬ニ所要ナル地積ニ富ミ殊ニ氣候風土ノ能ク之ニ適スルモノアルニ依ラズンバアラズ近年屢々農産物ノ不作ヲ聞クモ能ク産馬業ニ至リテハ嘗テ其悲況ヲ訴ヘザルモノ畢竟スルニ農事ノ如ク氣候ノ影響ヲ受クルコト甚シカラザルニ因ルベシト雖モ抑モ其山野ガ天

六九

然ニ育馬ノ要素ヲ備ヘテ至ル處ニ清冽ナル水流アリ萋々タル芳草アリ以テ馬匹ヲ生育スルガ故ニアラザルナキヲ得ンヤ即チ奥羽地方ハ先天的ニ牧畜郷タルノ運命ヲ有スルモノト謂ツ可キナリ故ヲ以テ其農家ニシテ常ニ牧馬業ニ精勵スルアラシカ假令農業上ノ凶年ニ逢フコトアルモ一方牧馬業ノ收益ニ依テ其悲慘ヲ免ル、ヲ得ベシ然リ而シテ牧馬業ハ畜ニ此ノ如キ利益ヲ有スルニ止マラズ農業ハ其相離ル可カラザルノ伴侶トシテ家畜ヲ要シ農家が耕作ニ最モ必要ナル生産肥料ハ實ニ馬匹ノ飼養ニ依テ之ヲ求ムルヲ得ベキカ故ニ農家ノ産馬業ヲ營ムハ終ニ已ム可カラザル事ニ屬ス即チ奥羽地方ハ其天然ニ牧畜ニ適スル土地ト相待テ牧馬業ニ發展スルノ素質ヲ充備スルヲ知ルナリ今ヤ馬匹改良ノ緊急一日ヲ忽セニスベカラザルノ時ニ際シ率先シテ此大業ヲ成功スルモノハ實ニ此ノ如ク多クノ素質ヲ有スル奥羽地方ガ國家ニ對スルノ必然的任務ニシテ其當業者ガ奮發躍進ヲ要スルノ所以ニアラズヤ

馬匹改良ノ方法ハ宜シク時勢ノ進歩ニ應ジテ其手段ヲ播セザル可カラズ徒ニ舊慣ヲ墨守スルガ如キハ奏効ノ途ニアラザルナリ縱令土地廣ク風土又能ク牧馬ニ適スルモ馬匹ヲ自然ニ放任シテ以テ改良ノ實ヲ舉ゲント欲スルハ甚ダ難シ今日馬匹ノ改良ハ大ニ人工ノ補助ヲ要ス即チ馬匹ヲ導ヒテ國家ノ要求スル所政府ノ希望スル點ニ發育セシメントスルニハ一ニ之ヲ人工ニ待タザルベカラズ近年生産ノ馬ヲ見ルニ素ヨリ改良ノ績ヲ顯ハササルニアラズト雖モ常ニ一二少數ノ秀良ヲ見ルニ止マリテ大多數ノ馬匹ハ終始不良ノ域ヲ脱セズ其良馬ノ頭數ヲ増加シ劣等馬匹ヲ減少シテ平均程度ヲ高ムルコト甚ダ必要ナ

ルト同時ニ育成ノ方法ニ充分ナル注意改善ヲ加フルノ最モ緊要ナルヲ信ス既ニ洋馬ノ生産數モ追々増加シ來リ殊ニ濠洲牝馬ノ貸下等ニ依リテ其數益々増加スル今日ニ於テ其育成法ノ馬格ノ進歩ト相伴ハザルハ前途頗ル懸念ニ堪エザルモノアリ徒ラニ外觀ノ美ヲ貴ビ骨質ハ細弱ニシテ體幅ハ足ラズ就中四肢ノ脆弱ナルモノ多キハ誠ニ憂慮スベキ事實ニシテ畢竟育成ノ方法宜シキヲ得ズ殊ニ運動ノ不足ナルニ基因スルモノ多キヲ認ム夫レ運動ニ依テ馬匹ノ筋骨ヲ鍛鍊スルハ育成ノ最大要件ニシテ眞ニ良善ナル馬ヲ作ラントセバ必ズヤ合理充分ノ運動ヲ行ハシメザル可カラズ幸ニモ今回共進會ノ開催ニ際シ學識經驗共ニ淺カラザルノ諸士各地方ヨリ來リ集合セラレアルベク本局又馬政官ヲ派遣シアリ此機ニ於テ充分ナル協議ヲ遂ゲ以テ運動ニ關スル設備及方法ヲ講究シテ直ニ其實行ニ着手セラレンコトヲ望ム

次ニ飼草ノ事ニ關シテ一言センニ既ニ述ブルガ如ク馬匹ヲ山野ニ放置シテ自然ノ發育ヲ待タントスルガ如キハ到底改良ヲ奏功スル所以ニアラズ況ンヤ國運ノ進歩ニ伴フテ原野ハ開拓セラレテ耕地トナリ或ハ植林地トナリ馬匹ノ放牧面積ハ漸次ニ縮少セラレテ嘗テハ人影ヲ没セシ草地モ今ヤ短矮ナル雜草ヲ生ズルニ過ギズ此ノ如キ草原ニ於テ貴重ナル馬匹ヲ育成スルノ不可能事タル言ヲ俟タズシテ明カナリ此ニ於テカ牧草飼養ノ愈々必要ナルヲ信ズ即チ既墾地若シクハ新ニ開墾セル原野ニ牧草ヲ耕作シ以テ飼草ヲ求メ或ハ以テ之ニ放牧ヲ行ヒ數年毎ニ他ノ耕作物ハ之ヲ輪換ス北海道ニ在テハ十年以上ヲ繼

續スルコトアルモ内地ニ於テハ概ネ四年ヲ以テ適度トナスベシ此方法ニ依ルトキハ夜間ハ馬匹ヲ厩舎ニ收容スベキヲ以テ又肥料ヲ得ルコト多キノ利益アリ唯夫レ馬匹ノ運動地域ハ勢ヒ狹小トナルヲ以テ益々人工的運動ヲ勵行スルノ必要ヲ増大ス即チ蕃殖馬匹ト使役馬匹トヲ區別スルコト之レナリ抑モ使役馬ヲ以テ蕃殖役務ヲ兼ネシムルハ一見甚ダ經濟的ナルガ如キモ其實大ニ然ラズ此ノ如キ方法ハ決シテ良馬ヲ生産スル所以ナラザルノミナラズ又爲メニ連年交尾ヲ行フ能ハザルノ不利アリ換言スレバ之レ等ノ馬産家ハ隔年ニ而カモ不良廉價ノ馬匹ヲ生産スルニ止マリ一見利益アルガ如キ方法ニ迷フテ目前ノ少利ヲ喜ビ却テ其收メ得ベキ更ニ大ナル利益ヲ放擲ス因習ノ久シキ愚モ亦甚シカラズヤ宜シク蕃殖馬匹ハ之ヲ使役馬ト區分スベシ而シテ常ニ良馬ヲ蕃殖生育スルニ勉メンカ其連年交尾ト相俟テ使役馬ノ兼用ヲ廢スルニ依リテ生ゼシ損失ヲ償フテ充分ナル剩餘アルベキハ蓋シ識者ノ疑ハザル所ナルベシ

以上ハ産馬家ニ對スル希望ノ一端ヲ表白スルモノ敢テ嶄新ノ言ニアラズ又實行困難ノコトニモアラズシテ而モ生産者ヲ利シ國家ニ効益ヲ及ボスノ多大ナルヲ信ズル者ナリ冀クハ躊躇狐疑スルコトナクシテ直チニ進取實行ニ着手セラレシコトヲ望ム今ヤ産馬熱ハ各地ニ勃興シ隨處産馬業ノ奮勵ヲ見ル東北地方ハ其天然ノ地勢風土ノ便利ニ對シ將タ馬産上ノ歴史ノ赫々タル既往ニ顧ミ更ニ一層ノ奮發勉勵ヲ加ヘテ卒先勇進改良ノ事業ヲ大成シ永ク其名聲ヲ持續スルノ大任ヲ有ス病床特ニ筆ヲ探テ敢テ一言ヲ

寄スルモノ諸子ガ邦家ノ現状ヲ思フテ馬匹改良事業ニ努力勤勉センコトヲ望ムノ婆心ニ外ナラザルナリ

明治四十一年五月八日

子爵 藤波 言忠

明治四十二年三月廿五日印刷

明治四十二年三月卅一日發行

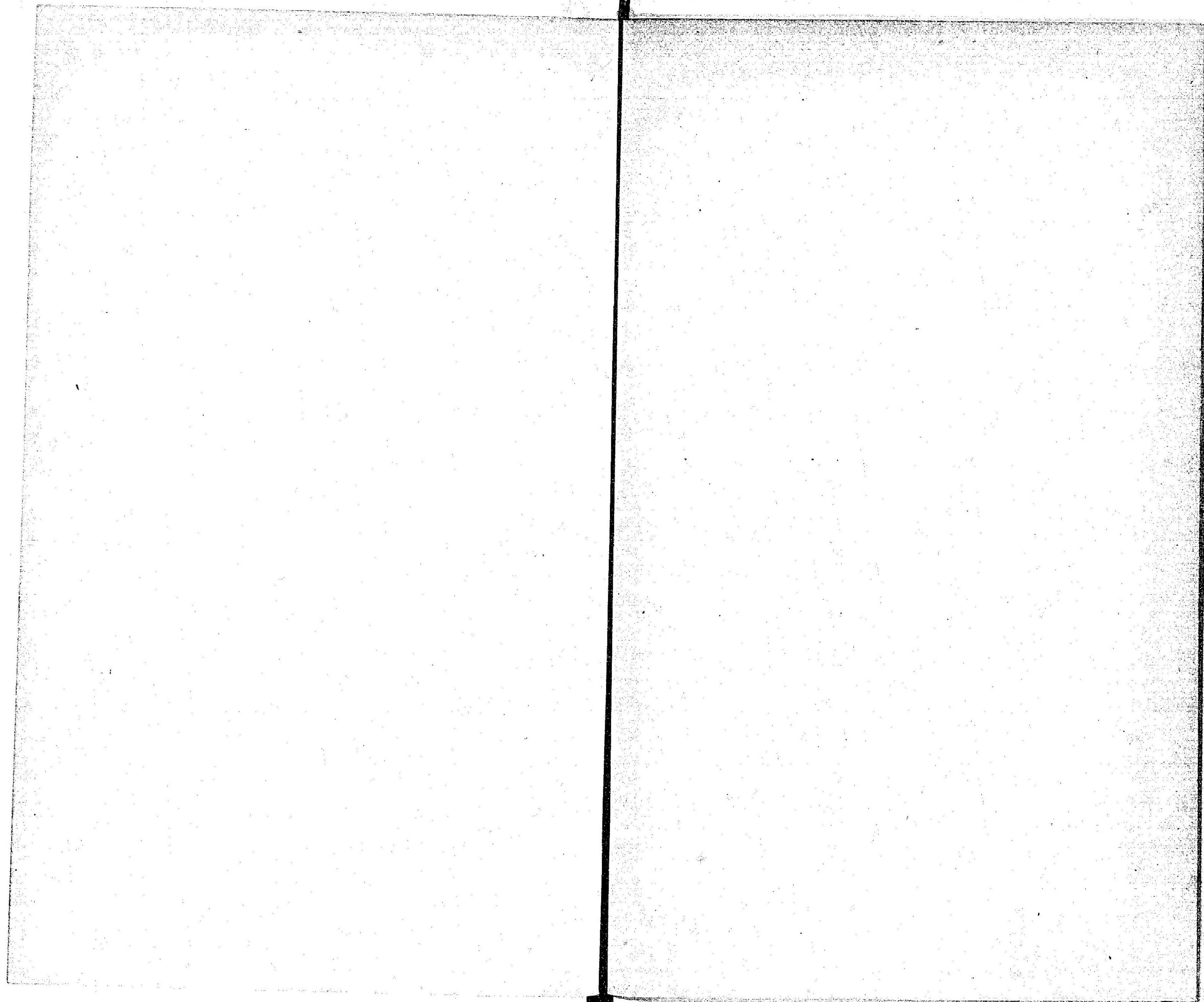
第一回奧羽六縣聯合馬匹共進會事務所

東京市芝區濱松町一丁目十七番地

印刷人 松本 魁

東京市京橋區宗十郎町十五番地

印刷所 合資 東京國文社



100-100000-100000

100-100000-100000

14.21

216

064621-000-5

14. 21-216

奥羽六県聯合馬匹共進
会事務報告 (第一回)

第一回奥羽六県聯合馬
匹共進会事務局

M42

CCD-0033



